

令和5年度 仕様書

工事名称 川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事
工事場所 川越市御成町1番ほか

【工事の概要】

本工事は、川越地区消防局・川越北消防署新築工事にともなう給排水その他設備工事である。

庁舎棟

構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
規模：地上4階建て 延床面積 5,462.74㎡

保管庫

構造：鉄筋コンクリート造
規模：地上1階建て 延床面積 54.30㎡

- ・ 機械設備工事 一式

本工事は、「週休2日制モデル工事（受注者希望型）」である。

《週休2日制モデル工事（受注者希望型）に係る特記仕様書》

本工事は「週休2日制モデル工事（受注者希望型）」の試行対象工事である。

実施は、川越地区消防組合週休2日制モデル工事試行要領（建築工事）（令和4年7月1日施行）によるものとする。

試行要領は、川越地区消防組合総務課ホームページで確認のこと。

川越地区消防組合週休2日制モデル工事試行要領（建築工事） 抜粋
（積算方法等）

第8条

4 受注者希望型においては、現場閉所（現場休息）の状況を確認後、4週8休に満たないものはその達成状況に応じて、労務費の補正係数を変更して工事費を積算し、請負代金額を変更する。なお、工事着手前にモデル工事に取り組むことについて協議が整わなかったもの（受注者がモデル工事の取り組みを希望しないものを含む。）については、契約締結後における直近の変更契約時に合わせて、請負代金額のうち労務費補正分を減額変更する。

川越地区消防組合総務課ホームページ

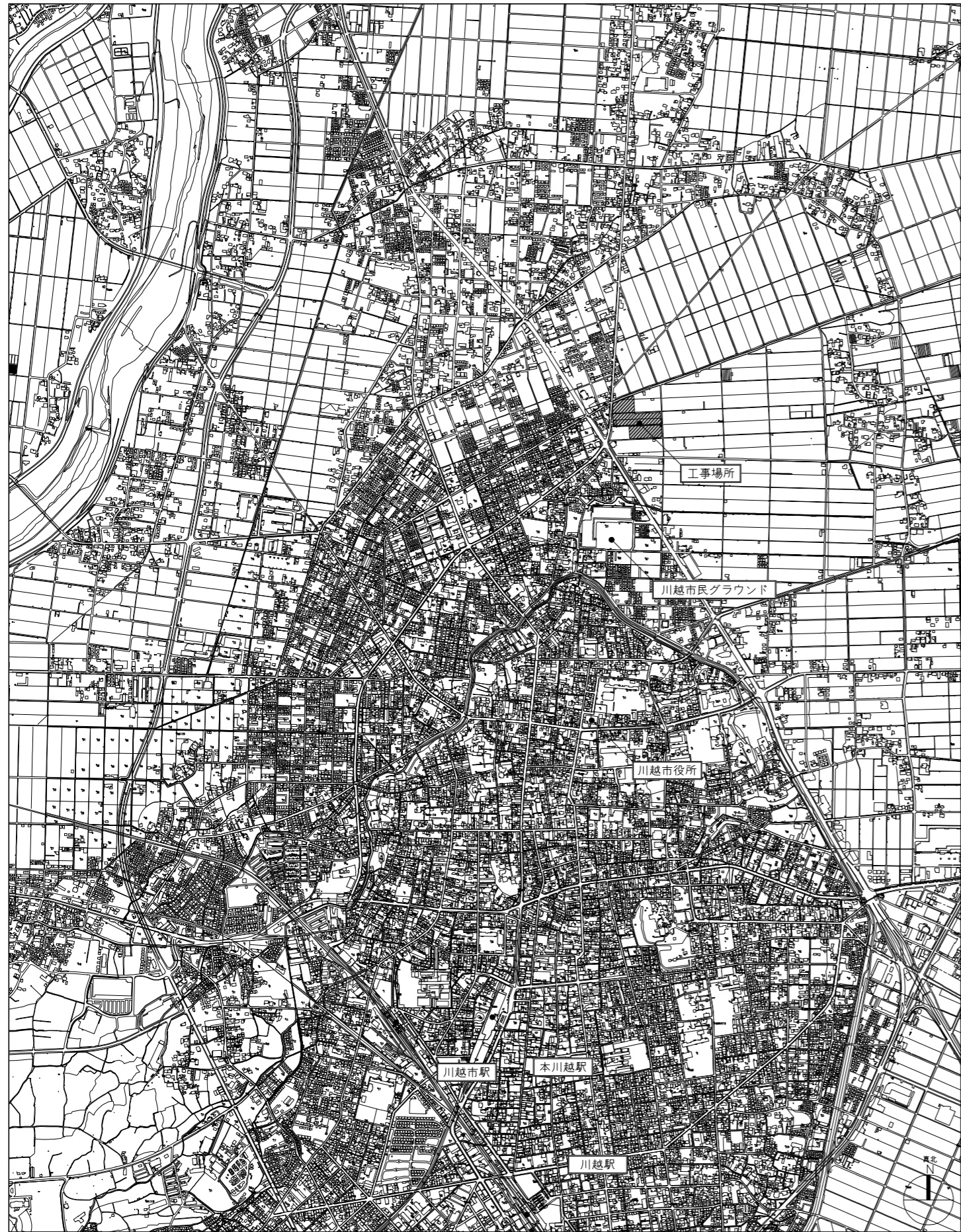
<https://www.119kawagoechiku.jp/soumu/nyusatu/nyusatu/nyusatu.htm>

川越地区消防組合

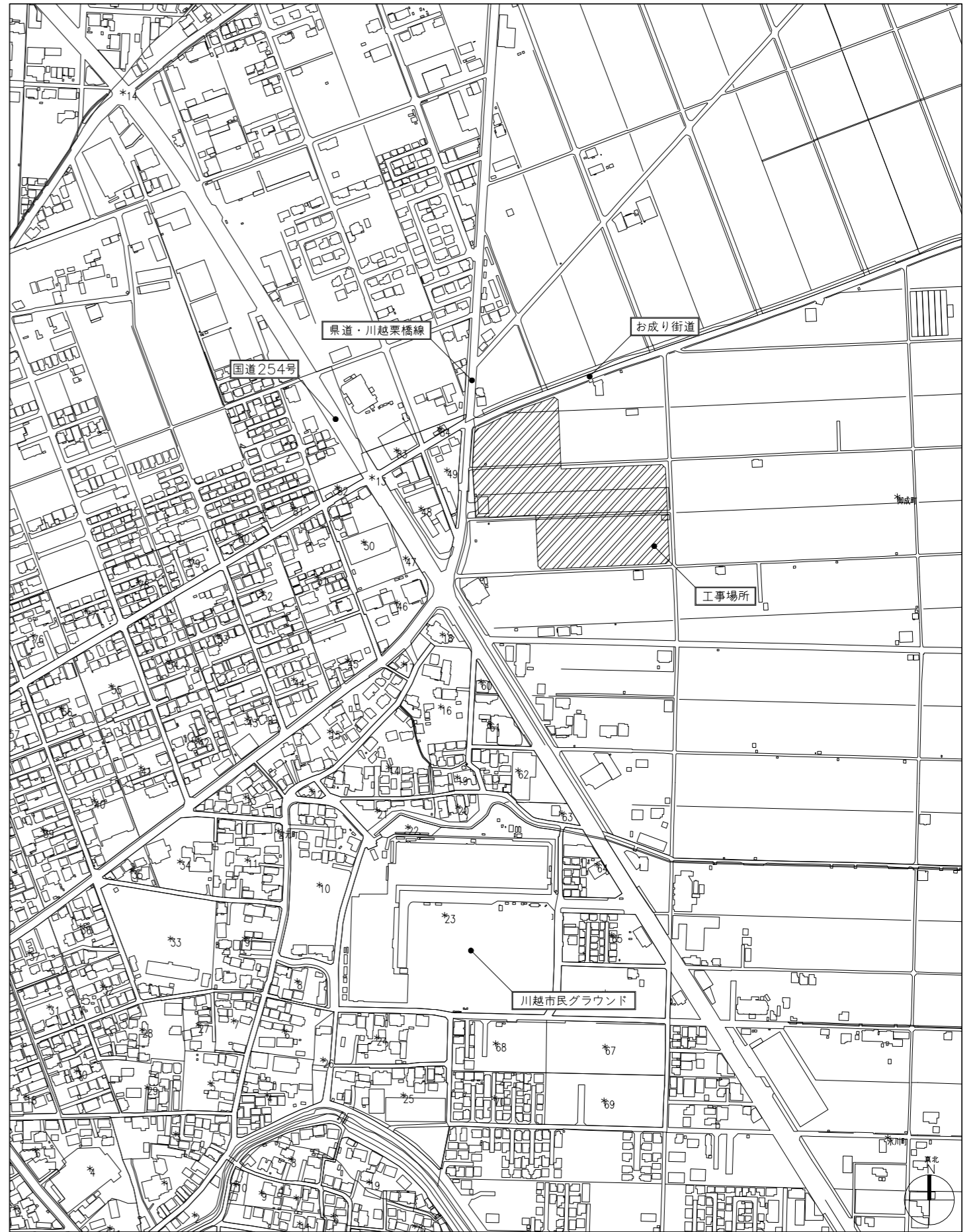
川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事

2024年3月

※ 安井建築設計事務所



A1=1:10000
A3=1:20000



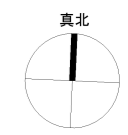
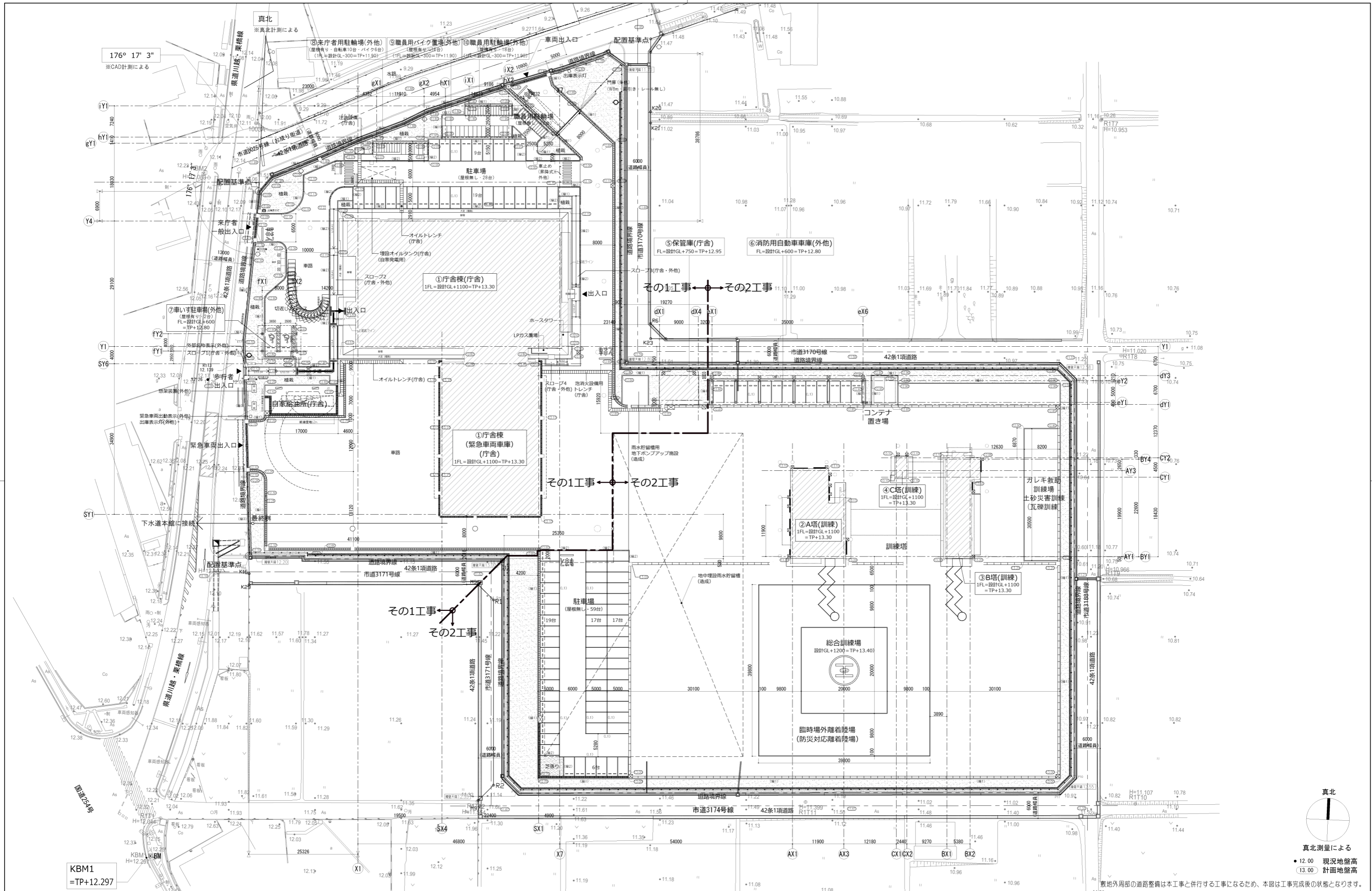
A1=1:2500
A3=1:5000

川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事

C	A1=図示
G05	A3=図示/2

敷地付近見取り図・案内図

安井建築設計事務所

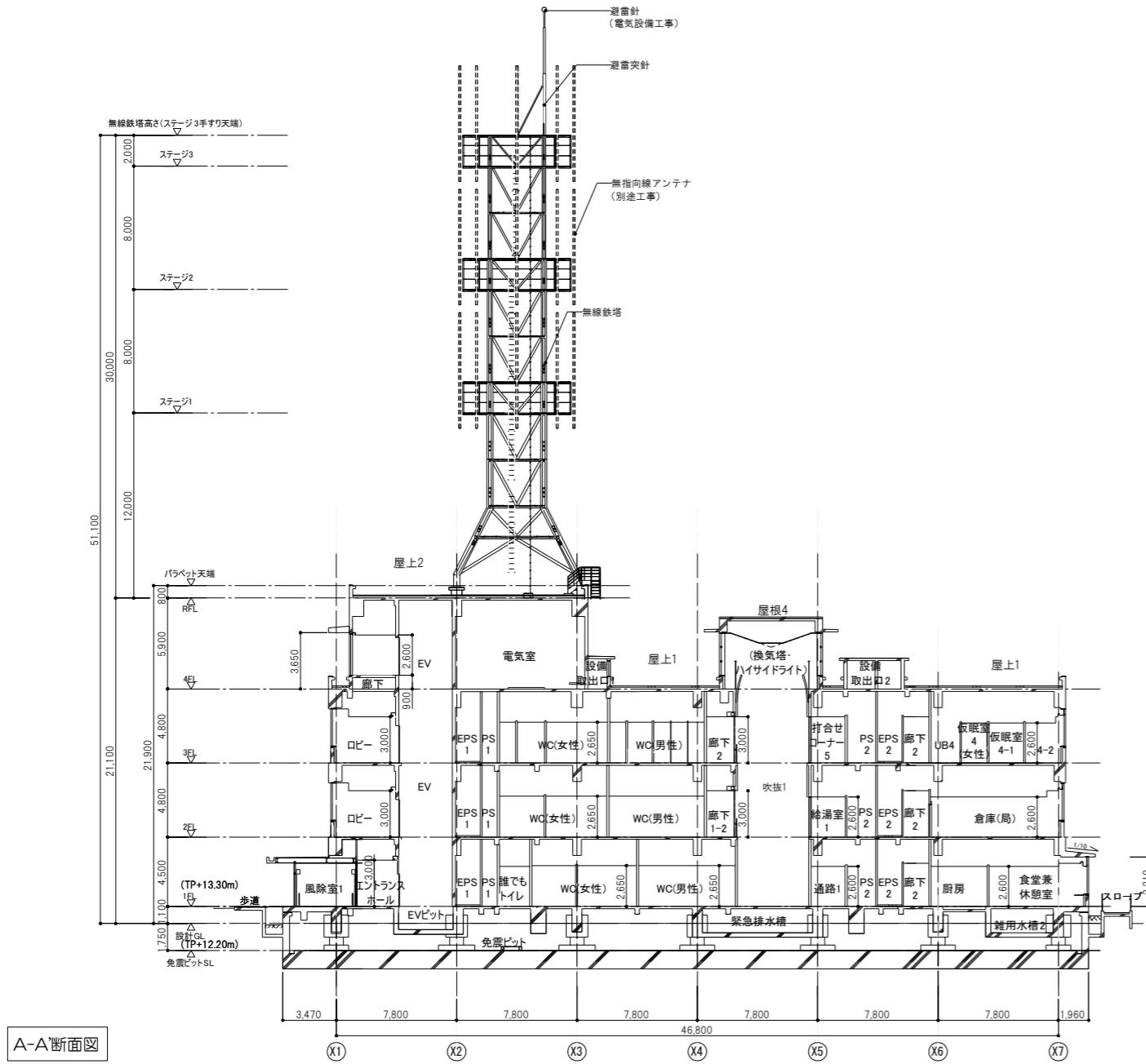


真北測量による
 ● 12.00 現況地盤高
 ○ 13.00 計画地盤高

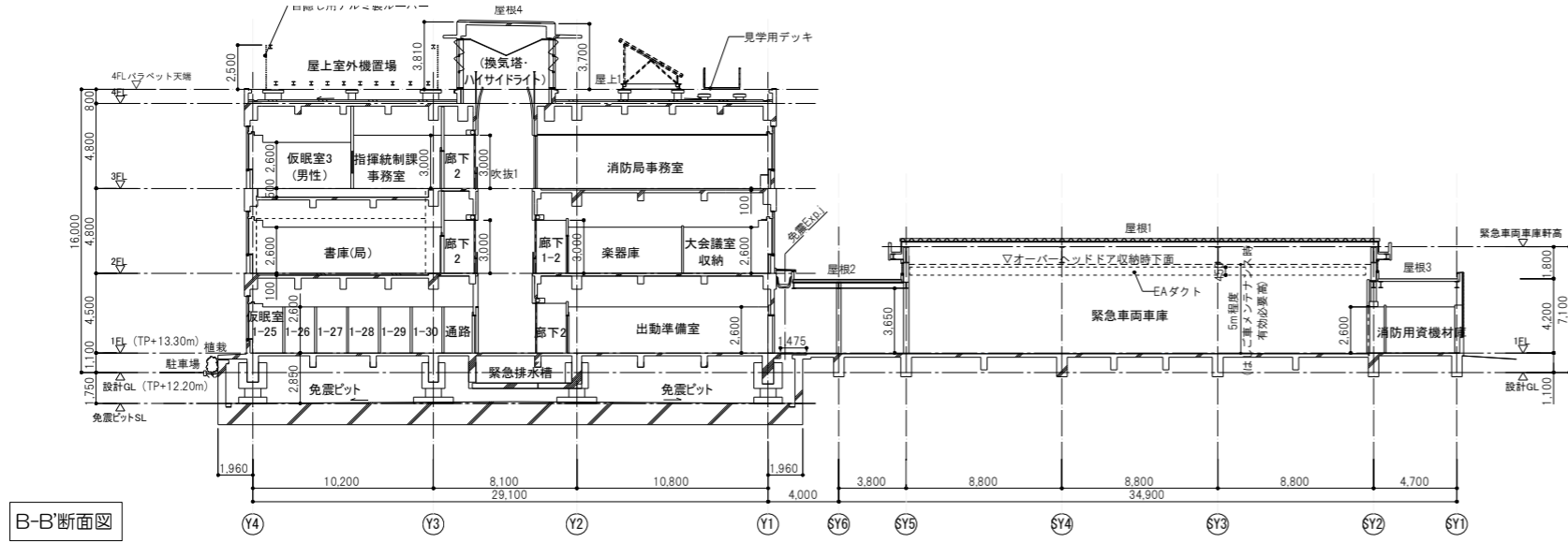
敷地外周囲の道路整備は本工事と併行する工事になるため、本図は工事成後の状態となります。

○	境界石	設計GL=KBM-0.097=TP+12.20
□	ベンチマーク	配置基準寸法を示す
---	敷地境界線	集水界・第一界 (詳細は雨水排水図面による)
○ 0.00	現況地盤高レベル	雨水マンホール (詳細は雨水排水図面による)
○ 0.00	計画地盤高レベル	電柱 (別途工事)

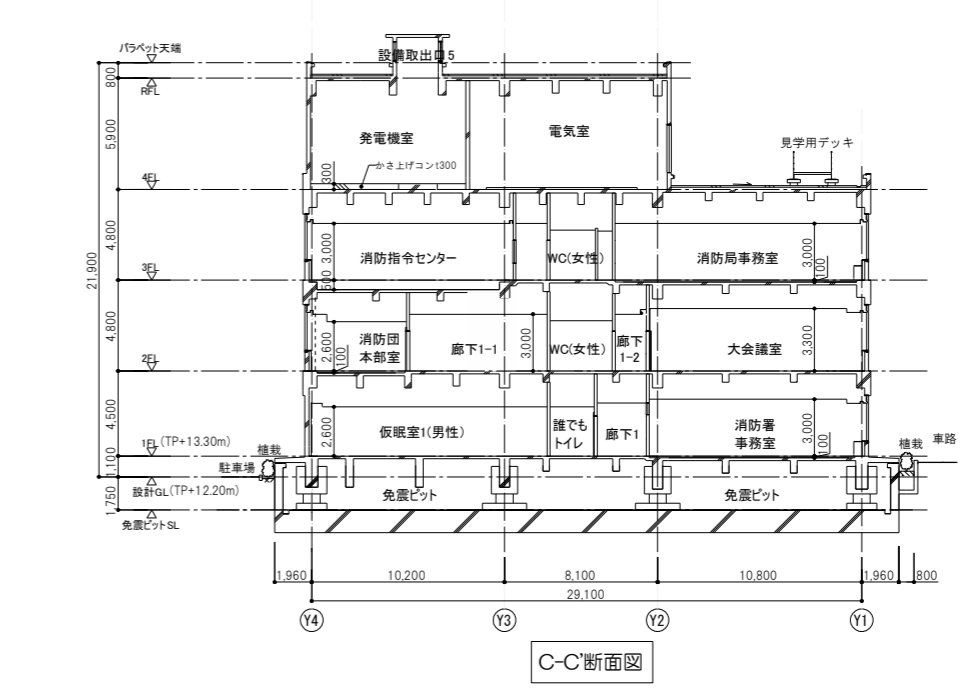
川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事		
C		A1=1/400
G06	配置図	A3=1/800
安井建築設計事務所		



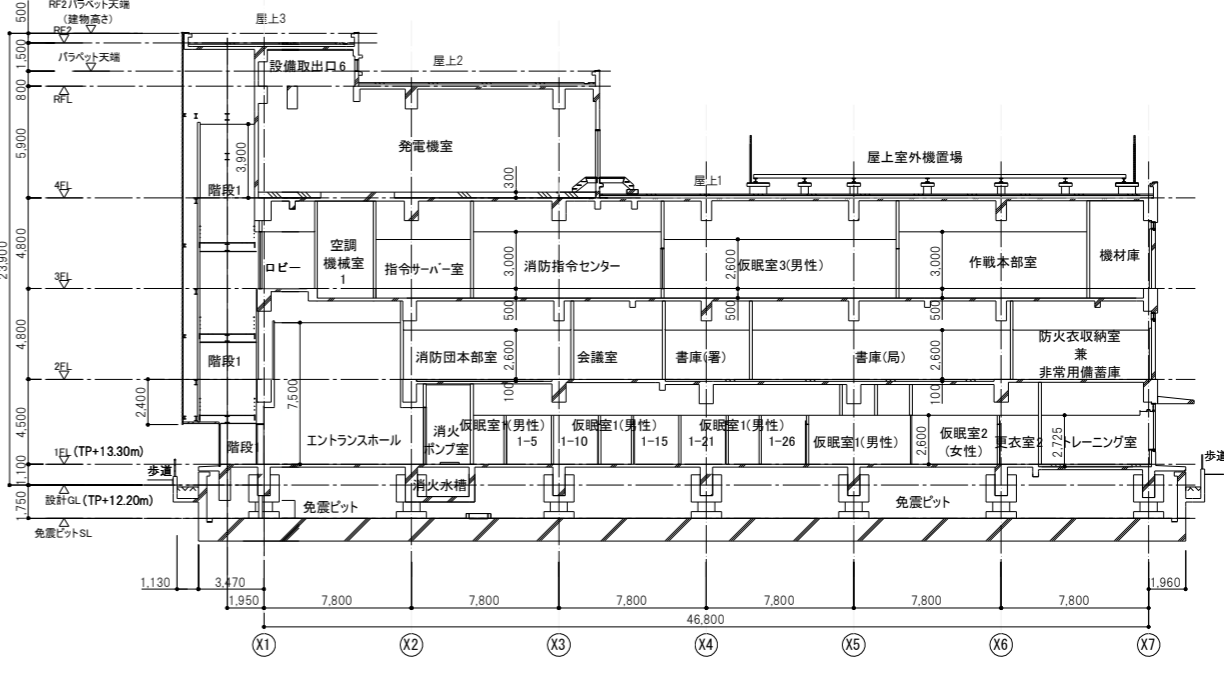
A-A断面図



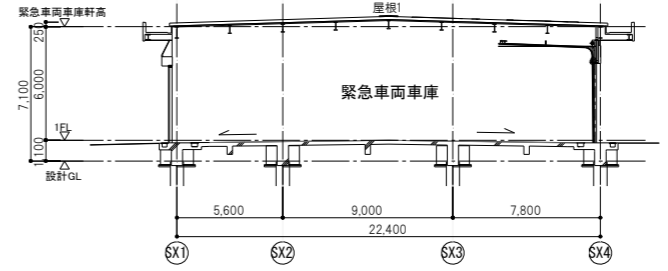
B-B断面図



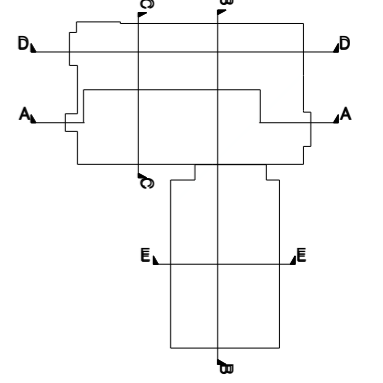
C-C断面図



D-D断面図



E-E断面図



断面図キープラン

川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事	
C	A1=1/200
G07	A3=1/400
安井建築設計事務所	

電気温水器 (○印のあるものを適用する)

機器番号	系統・用途	形式(1)		形式(2)		用途			台数	加熱能力 kW	貯湯量 L	寸法(参考)			電源			熱源効率 (JIS)	運転制御仕様	付属品	設置場所	備考			
		屋内型	屋外型	瞬間式	貯湯式		床置	壁掛				熱湯+雑湯	雑湯	W mm	D mm	H mm	φ						V	定格消費電力 kW	起動方式
					密閉式	開放式																			
WH-1	手洗い用	○			○			○	21	0.6	3				1	100	0.6		ウィークリータイマー	減圧弁、逃し弁、 絶縁パイプ・密閉式排水金物、止水栓	1階：WC(女性)、WC(男性)、休憩コーナー、洗面室1、洗面室2、食堂兼休憩室、厨房、除染室兼消毒室 2階：WC(女性)、WC(男性)、授乳室、給湯室1 3階：WC(女性)、WC(男性)、仮眠室4(女性)、洗面室3(男性) 緊急車両車庫：火災調査室				
WH-2	飲用(熱湯対応)	○			○			○	2	1.1	12				1	100	1.1		ウィークリータイマー	減圧弁、逃し弁、 絶縁パイプ・密閉式排水金物、止水栓	3階：休憩室(男性・女性)、給湯室2				

共通特記事項 1. 電気温水器の定格加熱能力及び定格消費電力は、JIS C 9219の定格条件及び試験方法による。 2. リモコン~本体間及び、マルチシステム制御用配管・配線共本工事とする。 3. 床置形機器の固定方法は平成24年度国土交通省公示第1447号に準じる。

グリース阻集器 (○印のあるものを適用する)

機器番号	系統・用途	流入方式		設置方法			槽式	材質		台数	容量 L	許容流入流量 L/min	本体寸法(参考)			バスケット	設置レベル調整			蓋				設置場所	備考	
		側溝	配管	土間埋設	天吊	耐火型		SUS	FRP				W mm	L mm	H mm		かさ上げ mm	かご持ち手延長 mm	密着連結メッキ	材質			耐荷重			
																				SUS	アルミニウム	鋼板+防錆塗装				FRP
GT-1	グリース阻集器		○		○			○		1		—	600	300	760				○						1階 厨房	許容流入流量：60.0L/min、阻集グリース量：18.9kg、防水型、フレキタイプ

共通特記事項

LPガス設備 (○印のあるものを適用する)

機器番号	系統・用途	仕様	台数	設置場所	備考
LP-1	厨房	50kgボンベ×6本(うち、予備3本)	1式	屋外(庁舎棟)	気化装置、調整器、据付架台、他付属品

共通特記事項

川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事

C	給排水衛生設備	
002	機器表(2)	A1=1:N.S A3=1:N.S

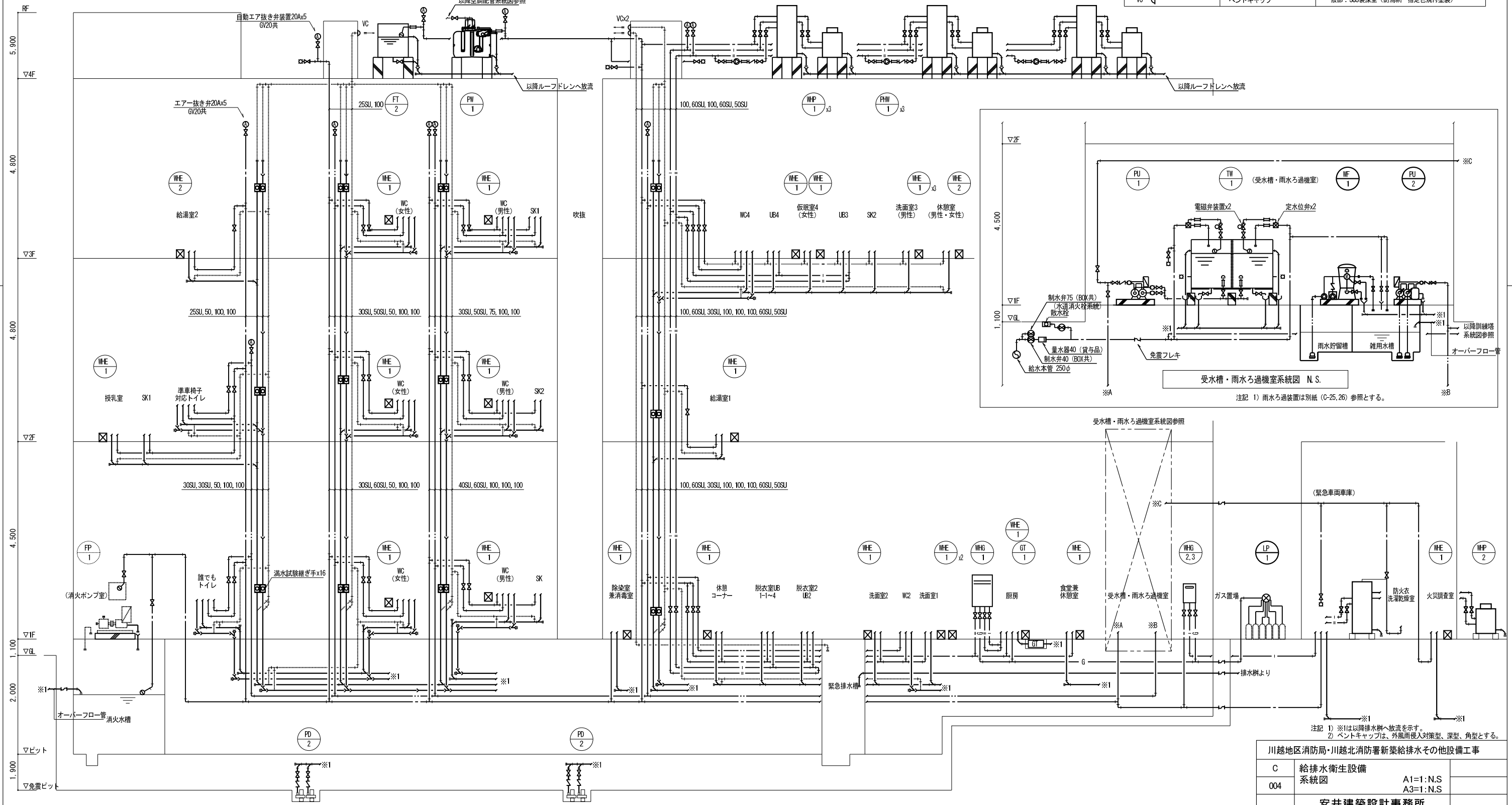
安井建築設計事務所

凡例

記号	名称	材質	規格	備考
— — — — —	給水管 (一般給水)	屋内: 一般配管用ステンレス鋼管 (SUS304)	JIS G 3448	
	給水引込管	屋外埋設: 水道配水用ポリエチレン管 (HPPE)	JWVA K 144	
	引込: 水道配水用ポリエチレン管 (HPPE)	JWVA K 144		
— · · · · ·	給水管 (雑用水)	屋内: 一般配管用ステンレス鋼管 (SUS304)	JIS G 3448	
		屋外埋設: 水道配水用ポリエチレン管 (HPPE)	JWVA K 144	
		散水系統: 水道用ポリエチレン管 (PE)	FWA 001	
		屋内: 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741	
— — — — —	排水管	屋内: 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	WSP 042-16	
		ピット内: 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741	
		屋外埋設: リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP)	JIS K 6741	
		厨房排水: 配管用炭素鋼鋼管 (白)		
		一般: 耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP)	JIS K 6742	
— PU — — — — —	圧送排水管	一般: 耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP)	JIS K 6742	
		屋内: 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	JIS G 6741	
— — — — —	通気管	屋内: 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	JIS G 6741	
		ピット内: 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741	

記号	名称	材質	規格	備考
— — — — —	給湯管 (往)	屋内: 一般配管用ステンレス鋼管 (SUS304)	JIS G 3448	溶接接合・拡管式
— — — — —	給湯管 (還)	ピット内: 一般配管用ステンレス鋼管 (SUS304)	JIS G 3448	溶接接合・拡管式

記号	名称	備考
— — —	仕切弁	JIS10K・管端コア付・SUS 樹脂管類は砲金製
— — —	逆止弁	JIS10K・管端コア付・SUS 樹脂管類は砲金製
— — —	フレキシブル継手	
— — —	防振継手	3山ベローズ形
— — —	免震継手	免震量500mm ゴム製
□	給水栓	
■	混合栓	
■	給湯栓	
□ ○	量水器	(貸与直読式・私設隔測式)
○	インバート閥	
□	散水栓	埋込式、SUS製BOX又は床下ドーム式
⊕	自動エア抜き装置	
— — —	満水試験継手	
VC ←	ベントキャップ	一般部: SUS製深型 (防鳥網・指定色焼付塗装)

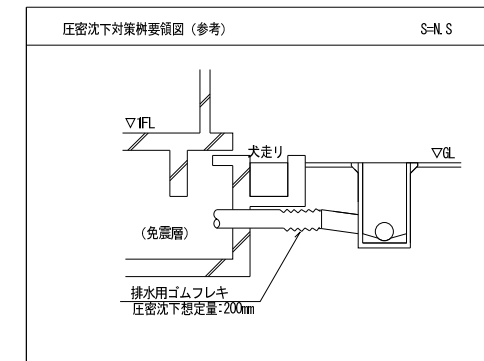


川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事	
C	給排水衛生設備
004	系統図
	A1=1:N.S
	A3=1:N.S
安井建築設計事務所	

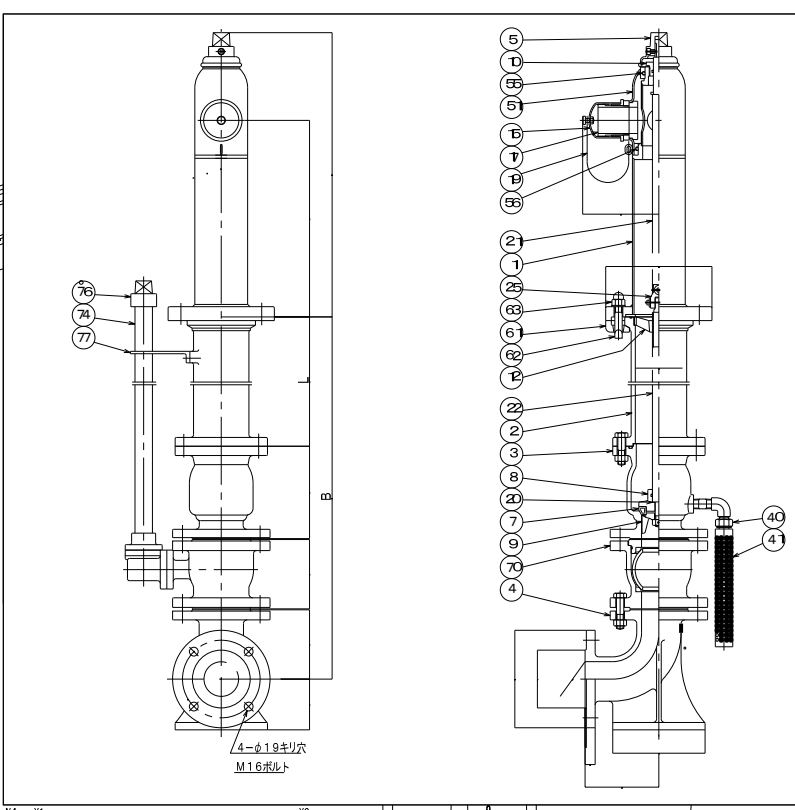
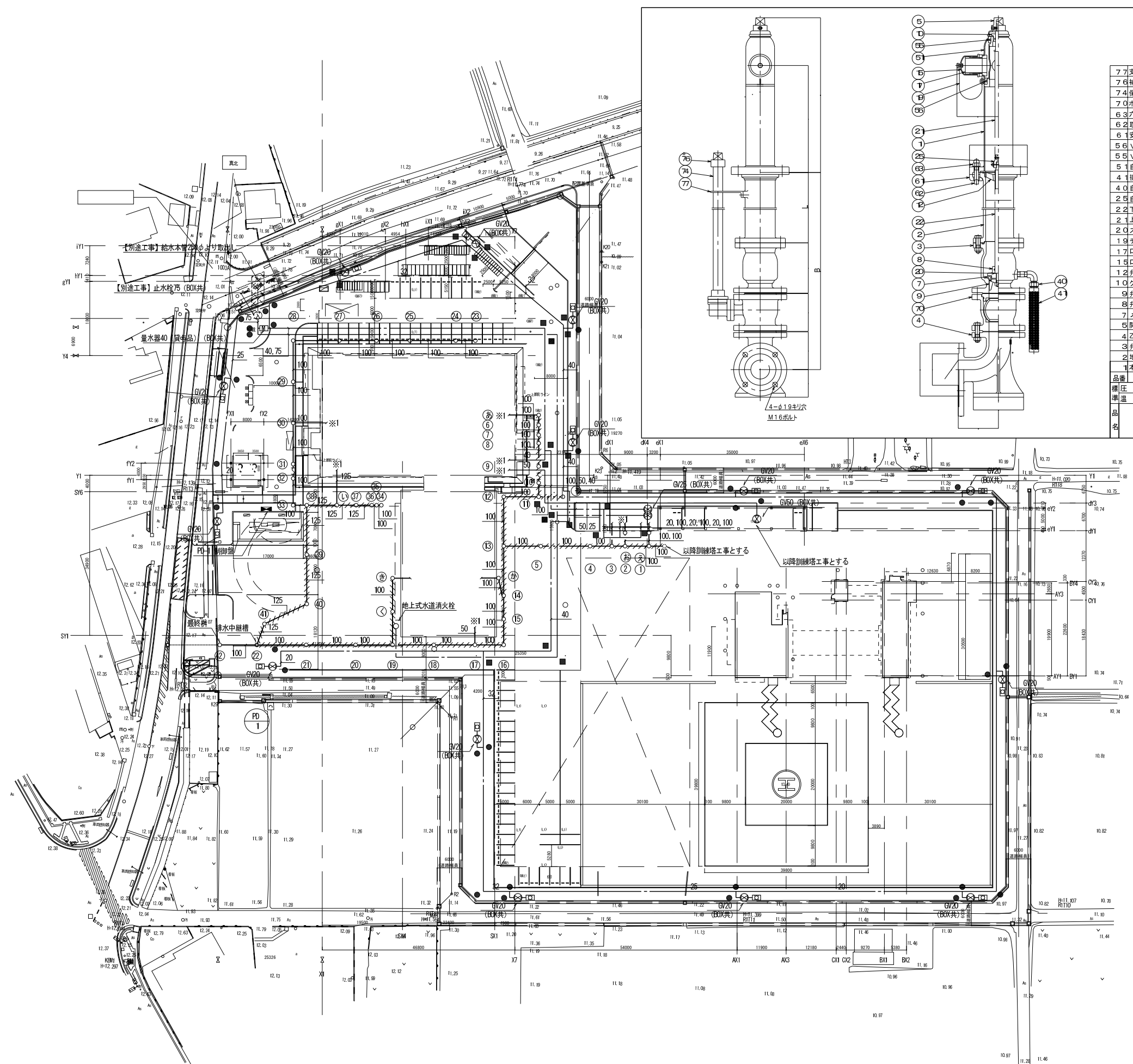
樹表

番号	名称	寸法 (mm)	樹深さ (管底) (mm)	設計GLからの深さ (mm)	設計GLからの地盤高さ (mm)	マンホール (呼び径 mm)	マンホール仕様	備考
え	トラップ樹	300φ	700	100	600	-	防護蓋 (T-25)	
1	塩ビ樹	300φ	1,580	880	700	-	防護蓋 (T-25)	
お	トラップ樹	300φ	700	100	600	-	防護蓋 (T-25)	
2	塩ビ樹	300φ	1,740	1,140	600	-	防護蓋 (T-25)	
3	塩ビ樹	300φ	1,770	1,170	600	-	防護蓋 (T-25)	
4	塩ビ樹	300φ	1,820	1,220	600	-	防護蓋 (T-25)	
5	塩ビ樹	300φ	1,740	940	800	-	防護蓋 (T-25)	
あ	塩ビ樹	200φ	700	300	400	-	防護蓋 (T-25)	沈下対策樹
6	塩ビ樹	200φ	730	330	400	-	防護蓋 (T-25)	沈下対策樹
7	塩ビ樹	200φ	760	360	400	-	防護蓋 (T-25)	沈下対策樹
8	塩ビ樹	200φ	880	380	500	-	防護蓋 (T-25)	沈下対策樹
9	塩ビ樹	200φ	1,040	440	600	-	防護蓋 (T-25)	沈下対策樹
10	塩ビ樹	200φ	1,180	480	700	-	防護蓋 (T-25)	
11	塩ビ樹	200φ	1,210	510	700	-	防護蓋 (T-25)	
う	トラップ樹	200φ	700	0	700	-	防護蓋 (T-25)	
12	塩ビ樹	200φ	1,550	600	950	-	防護蓋 (T-25)	
13	塩ビ樹	300φ	1,980	1,030	950	-	防護蓋 (T-25)	
か	塩ビ樹	200φ	600	-350	950	-	防護蓋 (T-25)	
14	塩ビ樹	300φ	2,100	1,150	950	-	防護蓋 (T-25)	
15	塩ビ樹	300φ	2,160	1,210	950	-	防護蓋 (T-25)	
16	塩ビ樹	300φ	2,220	1,270	950	-	防護蓋 (T-25)	
17	塩ビ樹	300φ	2,290	1,340	950	-	防護蓋 (T-25)	
18	塩ビ樹	300φ	2,390	1,440	950	-	防護蓋 (T-25)	
き	塩ビ樹	200φ	600	-350	950	-	防護蓋 (T-25)	
く	塩ビ樹	200φ	700	-250	950	-	防護蓋 (T-25)	
19	塩ビ樹	300φ	2,490	1,540	950	-	防護蓋 (T-25)	
20	塩ビ樹	300φ	2,530	1,830	700	-	防護蓋 (T-25)	
21	塩ビ樹	300φ	2,950	2,550	400	-	防護蓋 (T-25)	
22	2号人孔樹	1200φ	4,650	4,450	200	600	マンホール蓋 (T-25)	排水中継槽
23	塩ビ樹	200φ	700	700	0	-	防護蓋 (T-8A)	沈下対策樹
24	塩ビ樹	200φ	750	750	0	-	防護蓋 (T-8A)	沈下対策樹
25	塩ビ樹	200φ	860	860	0	-	防護蓋 (T-8A)	沈下対策樹
26	塩ビ樹	200φ	940	940	0	-	防護蓋 (T-8A)	沈下対策樹
27	塩ビ樹	200φ	1,030	1,030	0	-	防護蓋 (T-8A)	沈下対策樹
28	塩ビ樹	300φ	1,140	1,140	0	-	防護蓋 (T-14)	沈下対策樹
29	塩ビ樹	300φ	1,640	1,240	400	-	防護蓋 (T-14)	沈下対策樹
30	塩ビ樹	300φ	2,140	1,340	800	-	防護蓋 (T-14)	沈下対策樹・切替樹
31	塩ビ樹	300φ	2,240	1,440	800	-	防護蓋 (T-14)	沈下対策樹
32	塩ビ樹	300φ	2,180	1,480	700	-	防護蓋 (T-14)	沈下対策樹
33	塩ビ樹	300φ	2,050	1,550	500	-	防護蓋 (T-14)	沈下対策樹
34	塩ビ樹	200φ	700	-200	900	-	防護蓋 (T-25)	沈下対策樹
35	塩ビ樹	200φ	710	-190	900	-	防護蓋 (T-25)	沈下対策樹
36	塩ビ樹	200φ	720	-180	900	-	防護蓋 (T-25)	沈下対策樹
37	塩ビ樹	200φ	860	60	800	-	防護蓋 (T-25)	沈下対策樹
い	塩ビ樹	200φ	910	110	800	-	防護蓋 (T-25)	沈下対策樹・切替樹
38	塩ビ樹	300φ	2,180	1,580	600	-	防護蓋 (T-25)	沈下対策樹
39	塩ビ樹	300φ	2,100	1,700	400	-	防護蓋 (T-25)	
40	塩ビ樹	300φ	2,220	1,820	400	-	防護蓋 (T-25)	
41	塩ビ樹	300φ	2,330	1,930	400	-	防護蓋 (T-25)	
42	塩ビ樹	300φ	1,600	1,600	0	-	防護蓋 (T-8A)	最終樹

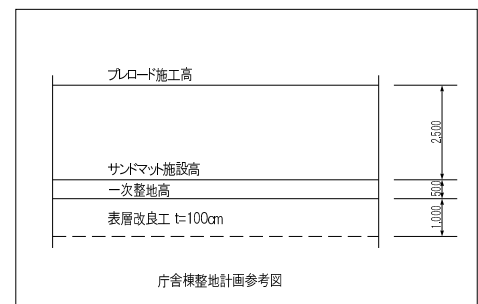
注) 1. 排水配管の勾配は1.0/100以上とする。



川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事		
C	給排水衛生設備	
005	樹表	A1=1:N.S A3=1:N.S
安井建築設計事務所		



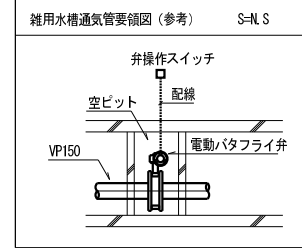
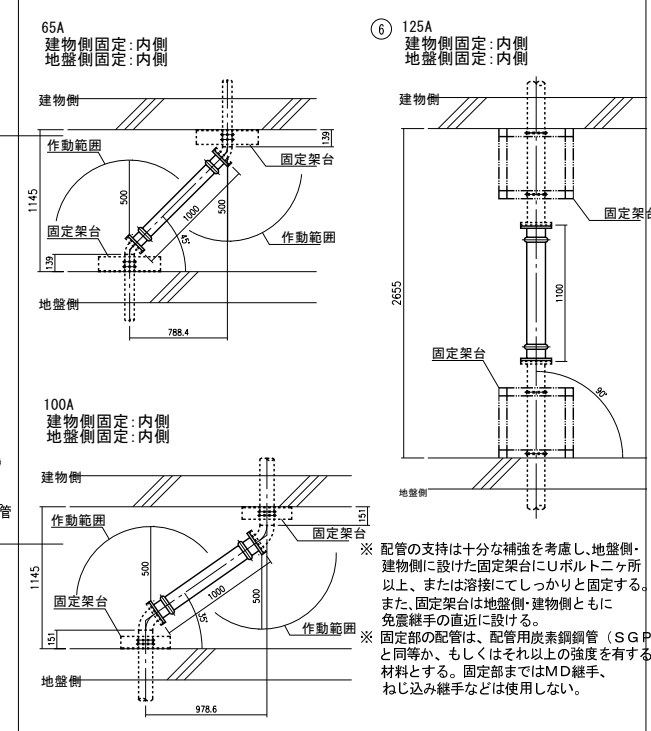
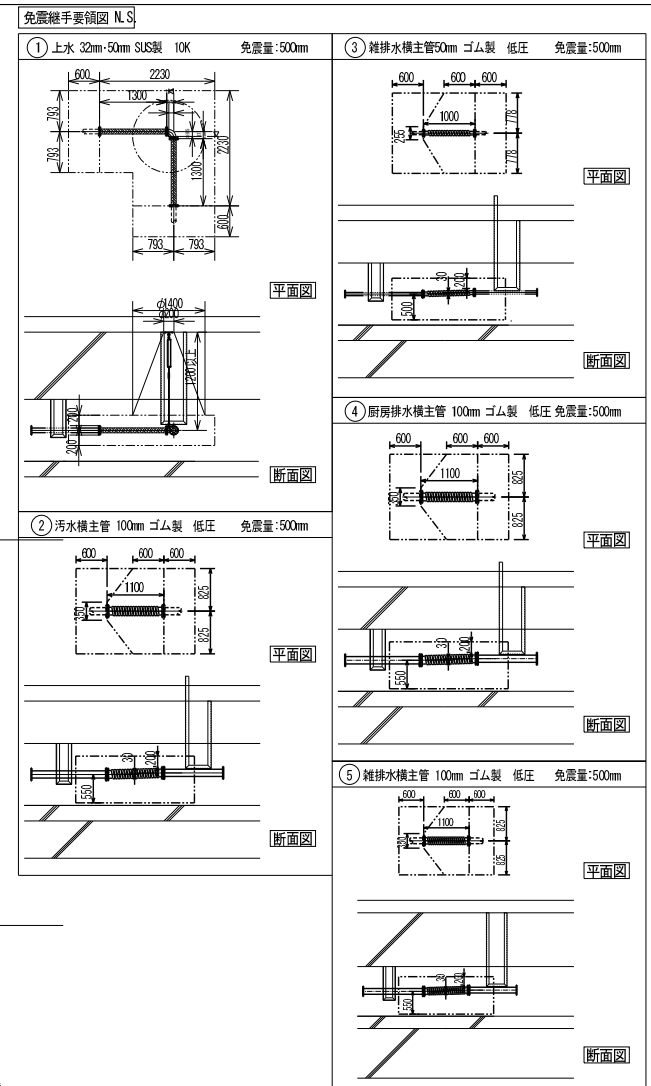
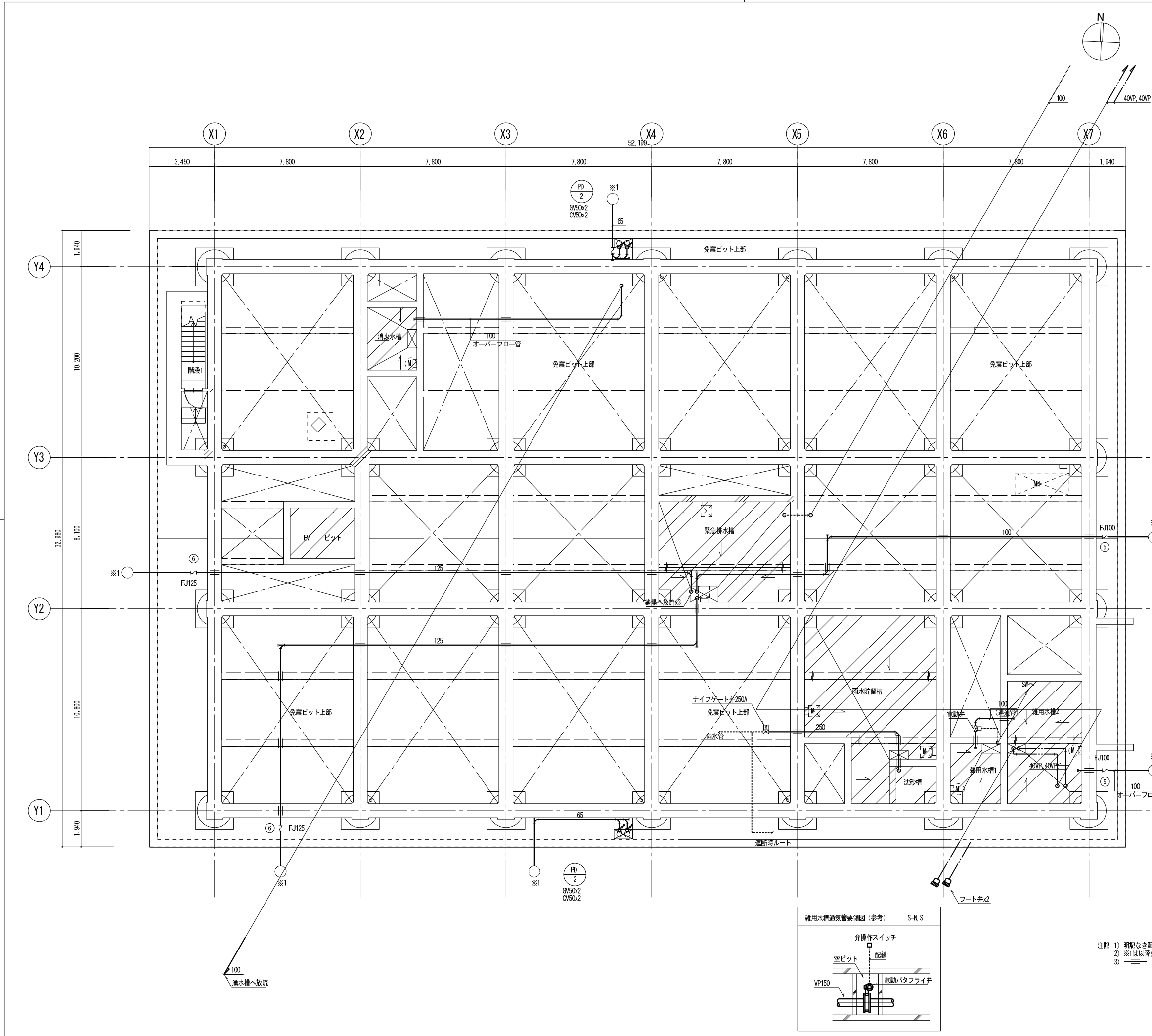
77	支え板	SS400	1	
76	補修弁開閉キャップ	FC200	1	
74	保護管	S.G.P	1	
70	ボール形補修弁	FCD450地	1	座込中継り埋設
63	六角袋ナット	SUS304	4	
62	取付ボルト	FCD450	4	
61	安全座金	FC200	4	
56	Vリング	N.B.R	1	
55	Vリング	N.B.R	1	
51	自在回転軸	SUS304	1	
41	排水パイプ	合成樹脂	1	
40	自動排水弁	C3604B	1	1set
25	自在接手	CAC406	1	1set
22	下部弁軸	SUS403	1	
21	上部弁軸	SUS403	1	
20	スラスト産金	T#9015	2	
19	チエーン	SUS304	1	1set
17	口金	SUS304	1	
15	口金ふた	SUS304	1	
12	締めねじ	CAC406	1	
10	グラウンド	C3604B	1	HCrメッキ
9	弁体ガイド	CAC406	1	
8	弁体	CAC406	1	
7	メインバルブ	E.P.D.M	1	芯金入り
5	開閉キャップ	SCS13	1	
4乙	管	FCD450	1	座込中継り埋設
3	管	FCD450	1	座込中継り埋設
2	地中直管	FCD450	1	
1	本体	SUS304	1	
品番 部品名 材料 個数 備考				
横圧力 0.7MPa 試験本体 1.7MPa				
標準温度 ℃ 圧力 1.3MPa				
品名 75A 地上式単口消火栓 不凍式自在放水型 ソフトシール型 補修弁付				



庁舎棟整地計画参考図

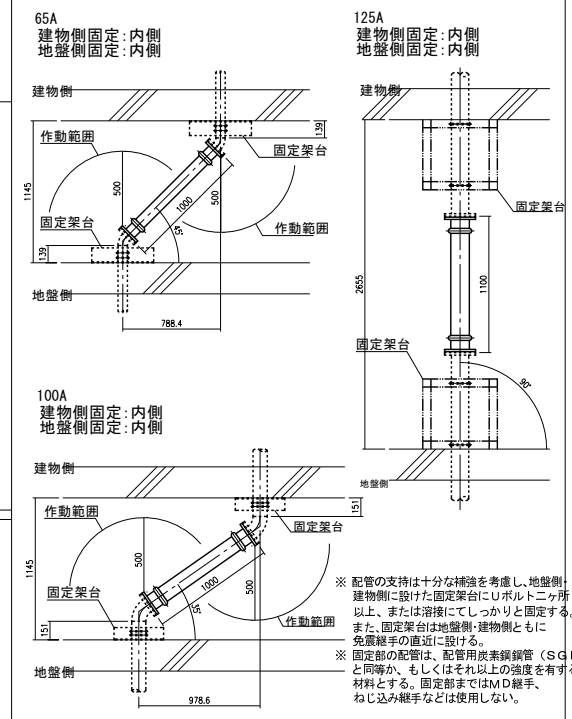
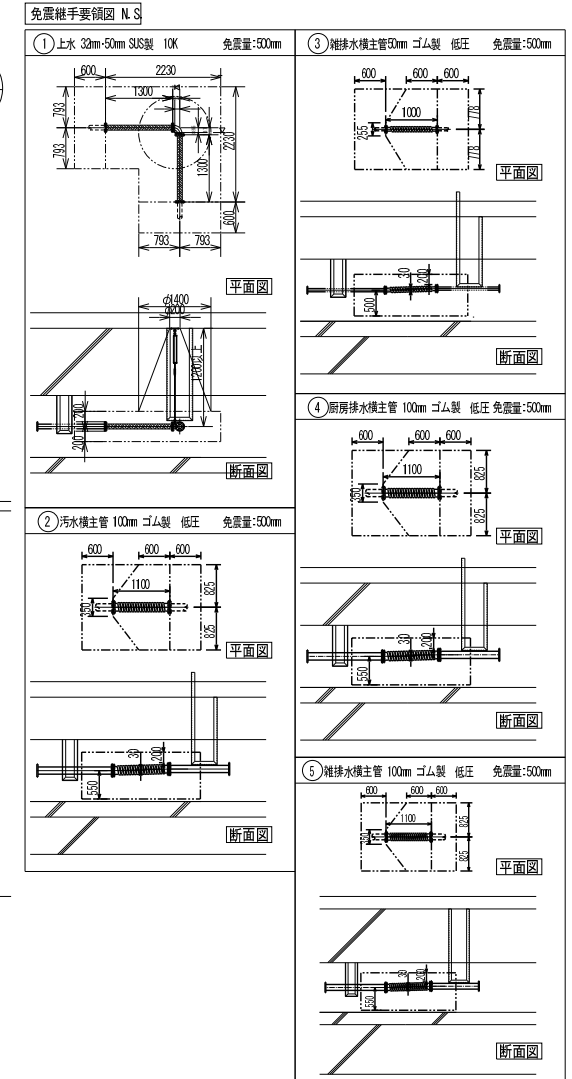
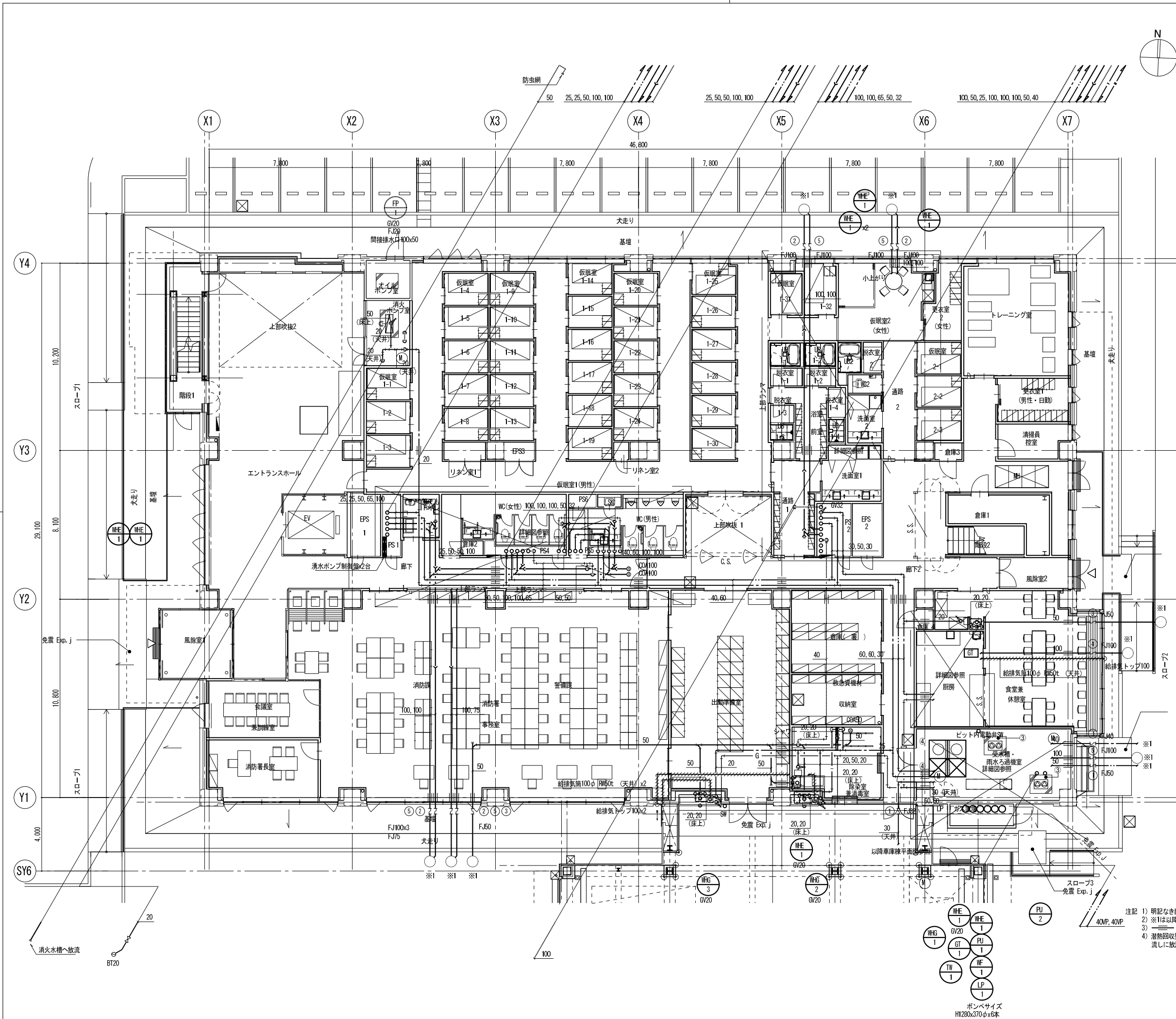
- 注記 1) 明記なき配管は、埋設配管を示す。
 2) ※IIは以降平面図参照を示す。
 3) ■ は鉄製（塗装部）埋設標識、● はコンクリート製（工、緑地）埋設標識を示す。
 4) [X] はアスファルトカッター入れ、路面はつり、復旧箇所を示す。
 5) // はコンクリート巻きとする。
 6) 配管工事施工において必要な土留や水替作業は本工事に含むものとする。
 7) 配管工事の施工時期については、関連工事と協議すること。敷設板などの取替え・移設作業は別途工事とする。

川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事	
C	給排水衛生設備
006	全体外構図
	A1=1:500 A3=1:1000
安井建築設計事務所	



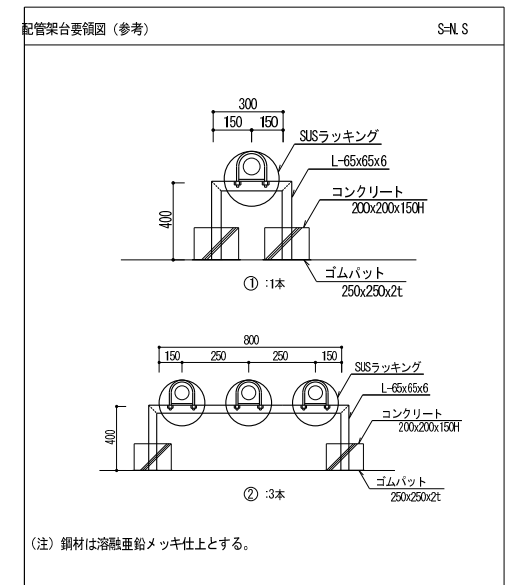
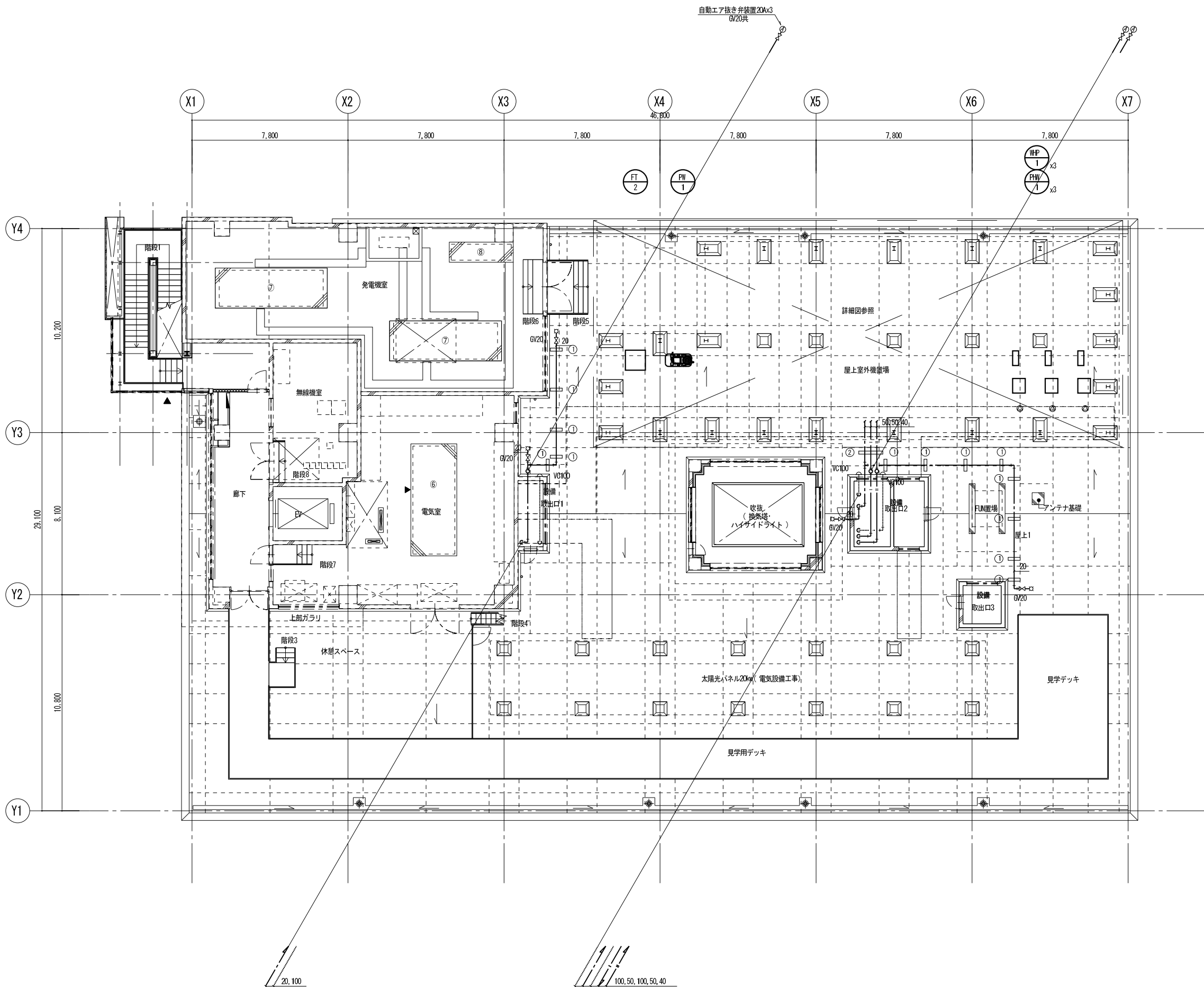
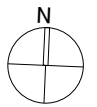
注記 1) 明記なき配管は、ピット内配管を示す。
 2) ※1は以降外構図参照を示す。
 3) 〓は、梁貫通を示す。

川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事	
C	庁舎棟 給排水衛生設備
008	ピット階平面図
	A1=1:100 A3=1:200
安井建築設計事務所	



注記 1) 明記なき配管は、床下配管を示す。
 2) ※1は以降外構図参照を示す。
 3) — は、実貫通を示す。
 4) 潜熱回収型ガス湯沸器からの排水は、流しに放流し、汚水として排水する。

川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事	
C	庁舎棟 給排水衛生設備
009	1階平面図 A1=1:100 A3=1:200
安井建築設計事務所	

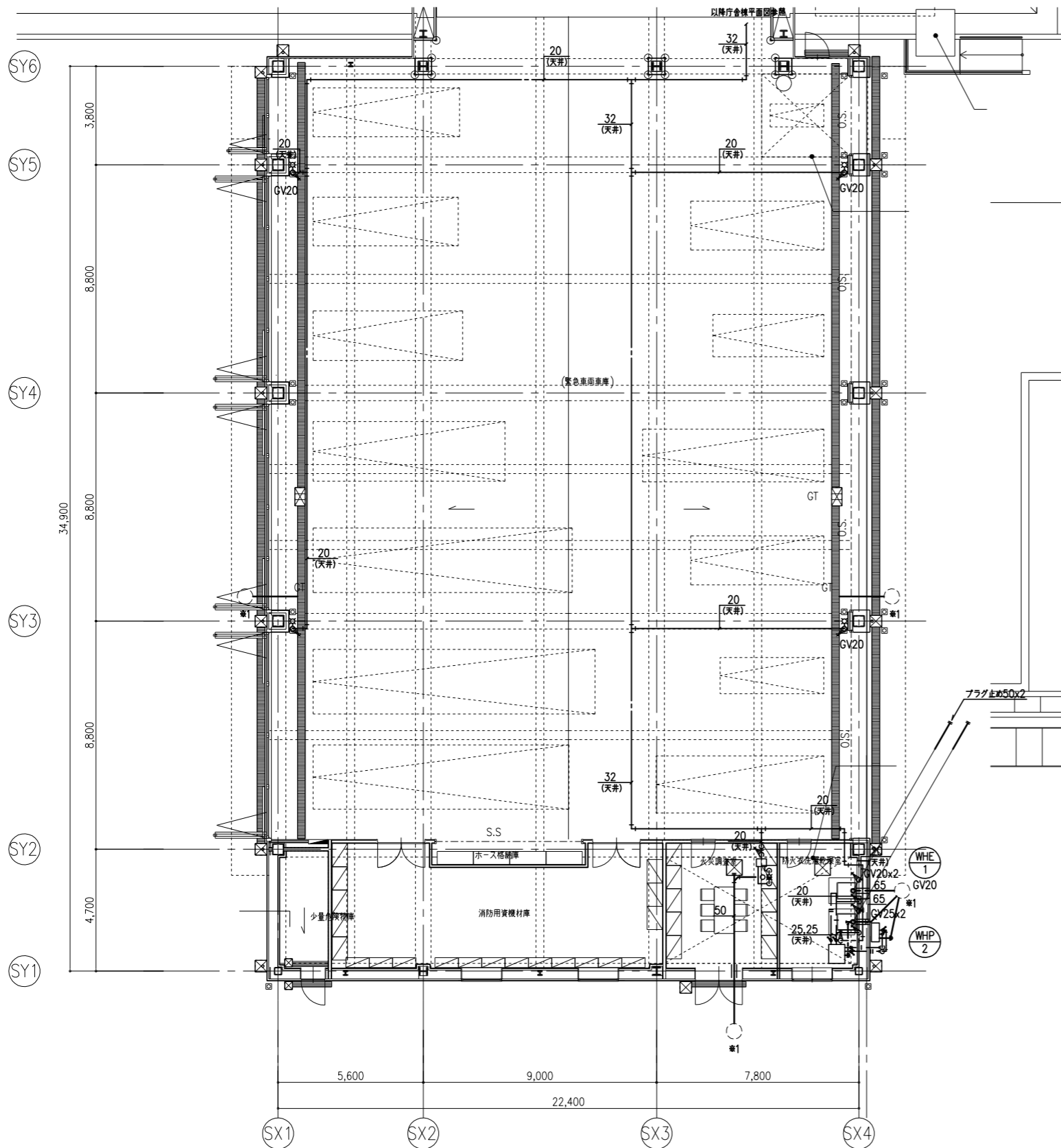
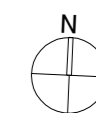


配管架台リスト

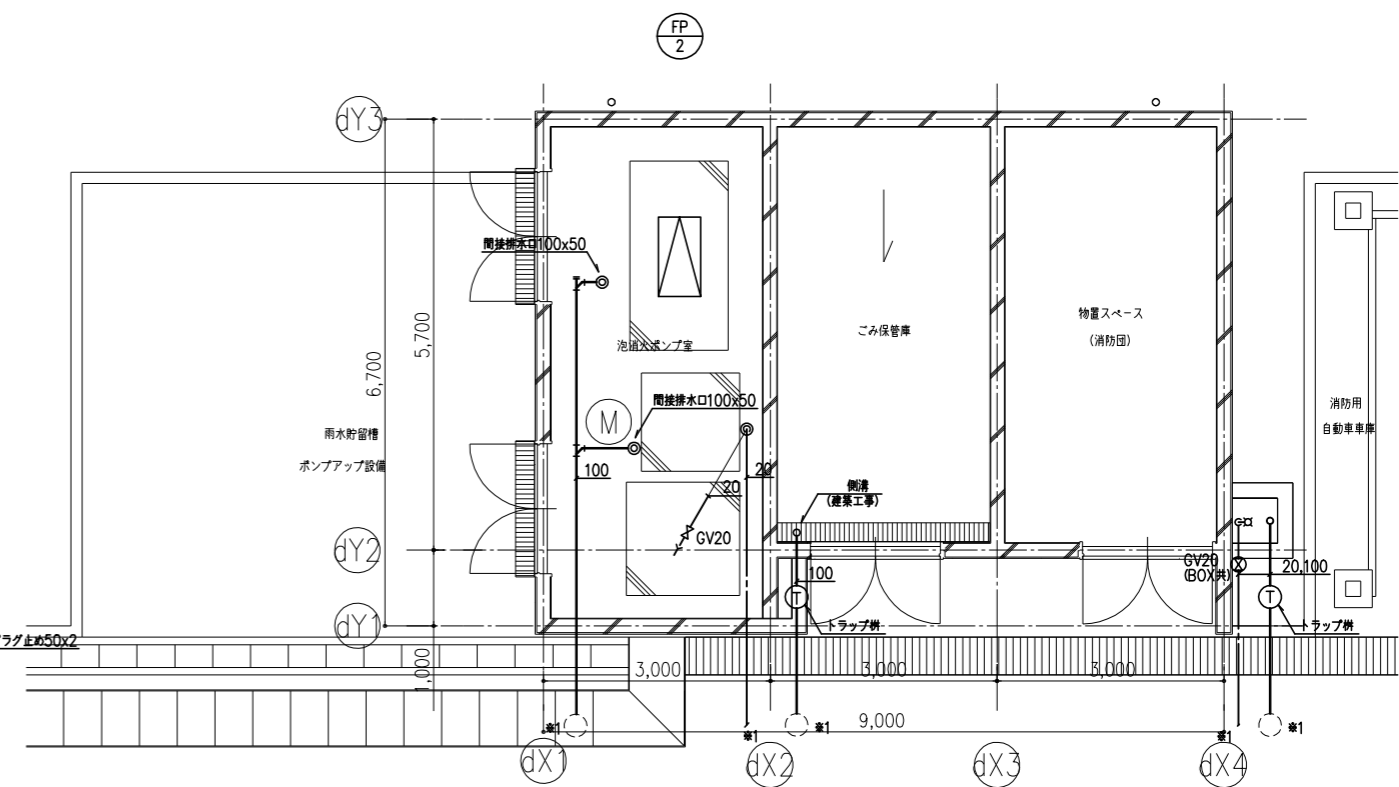
記号	個数
①	13
②	1

注記 1) 明記なき配管は、屋外露出配管を示す。

川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事		
C	庁舎棟 給排水衛生設備	
012	4階平面図	A1=1:100 A3=1:200
安井建築設計事務所		



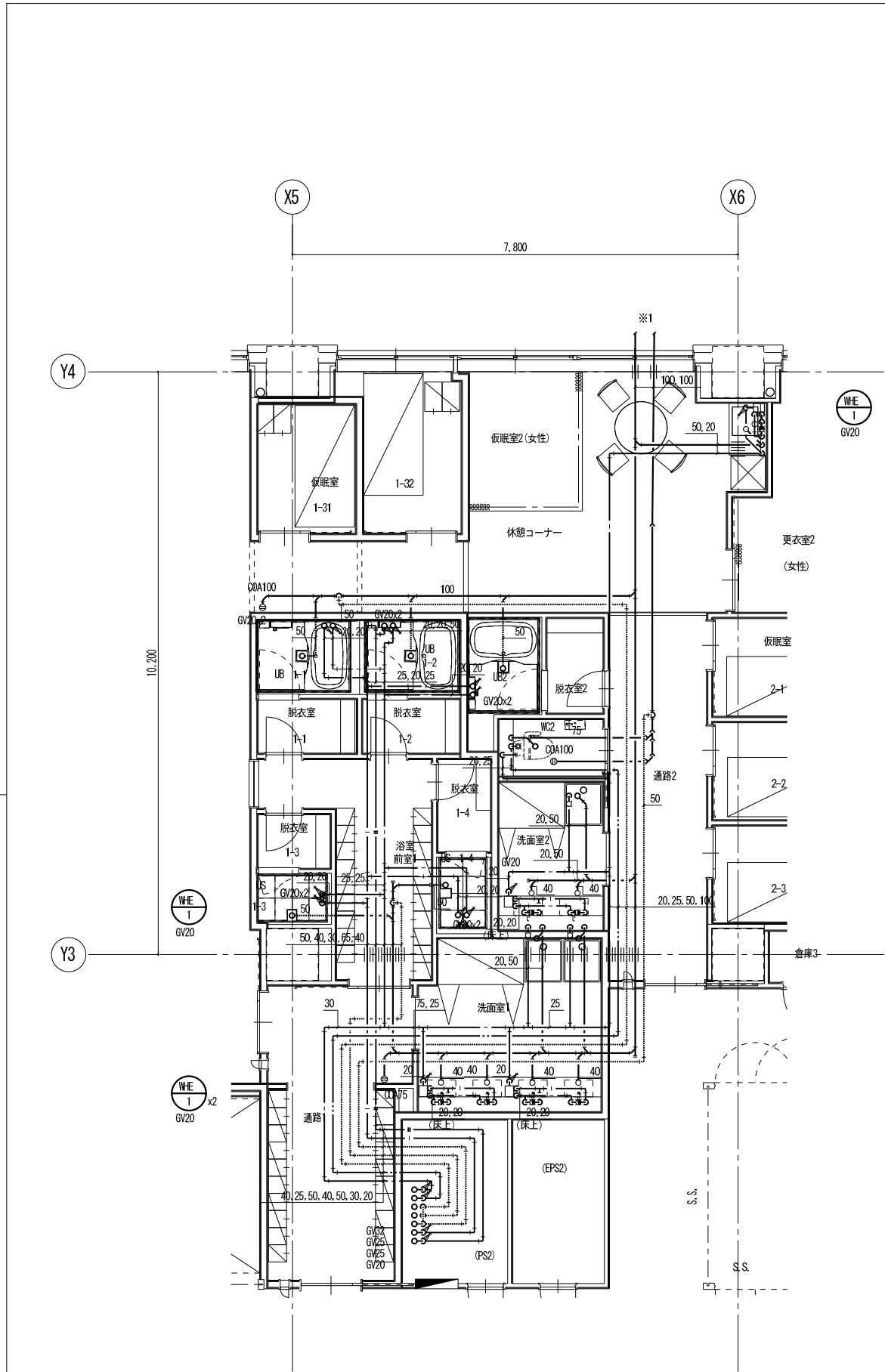
緊急車両車庫平面図



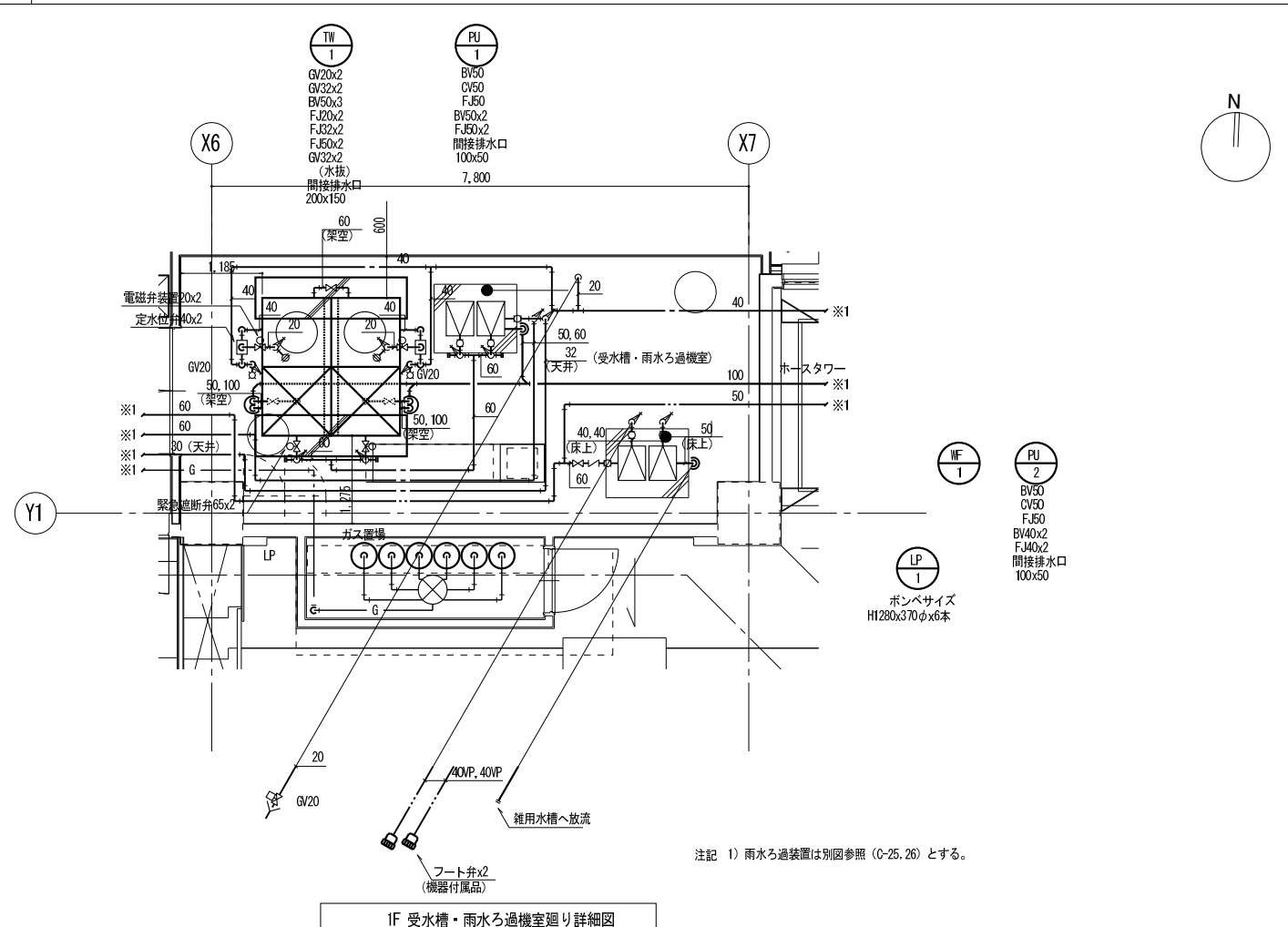
保管庫平面図

注記 1) 明記なき配管は、床下配管を示す。
 2) ※1は以降外構図参照を示す。
 3) —は、梁貫通を示す。

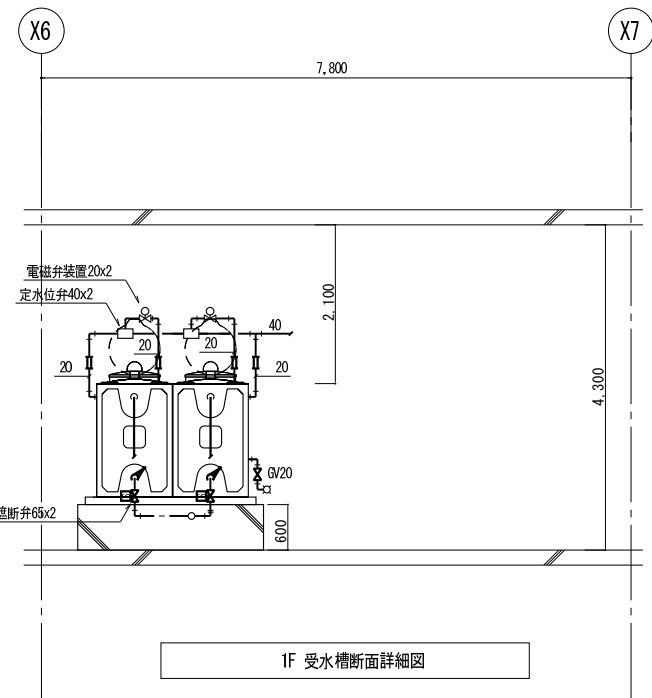
川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事	
C	緊急車両車庫・保管庫
013	給排水衛生設備 平面図 A1=1:100 A3=1:200
安井建築設計事務所	



1F UB・洗面室廻り詳細図



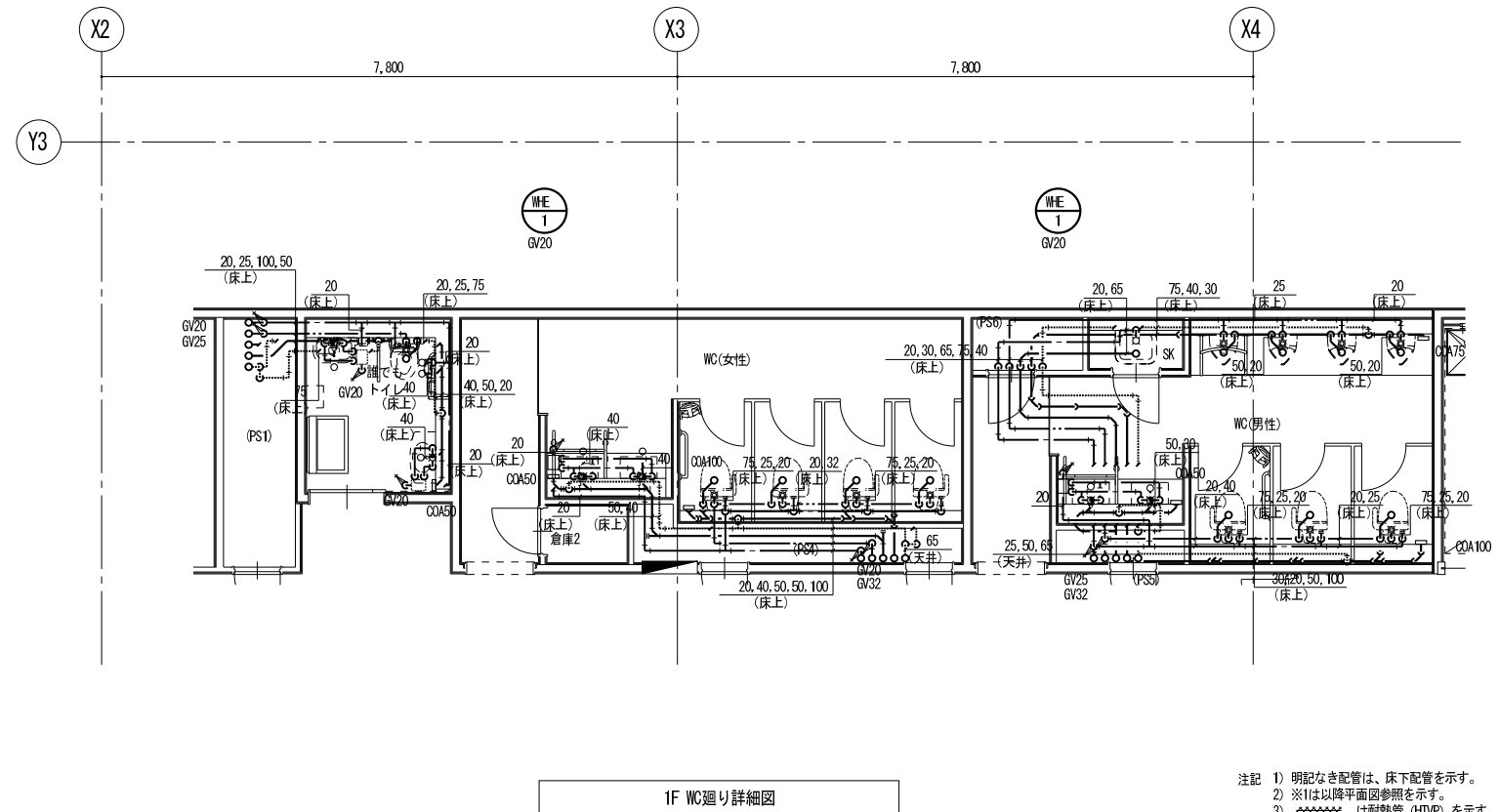
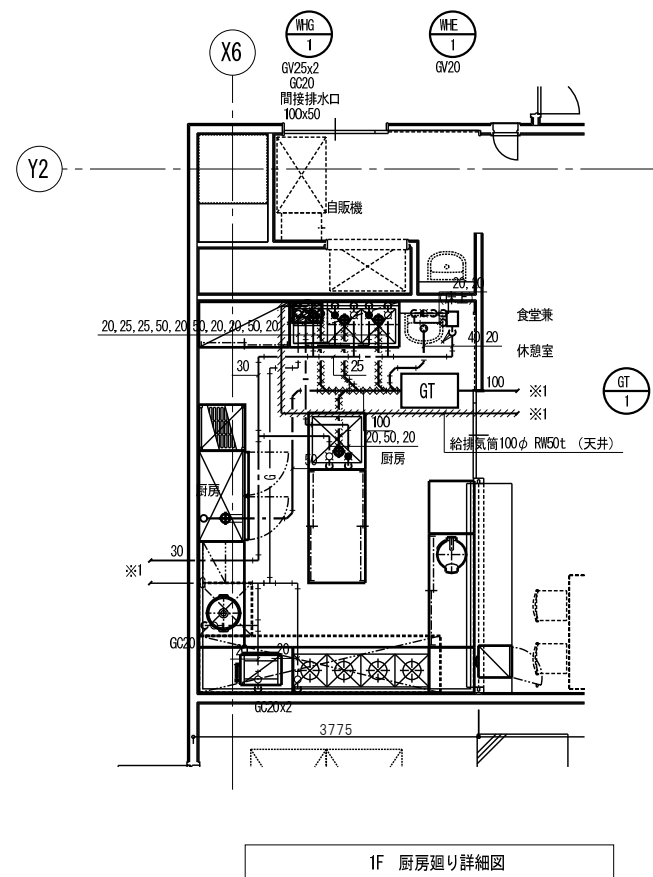
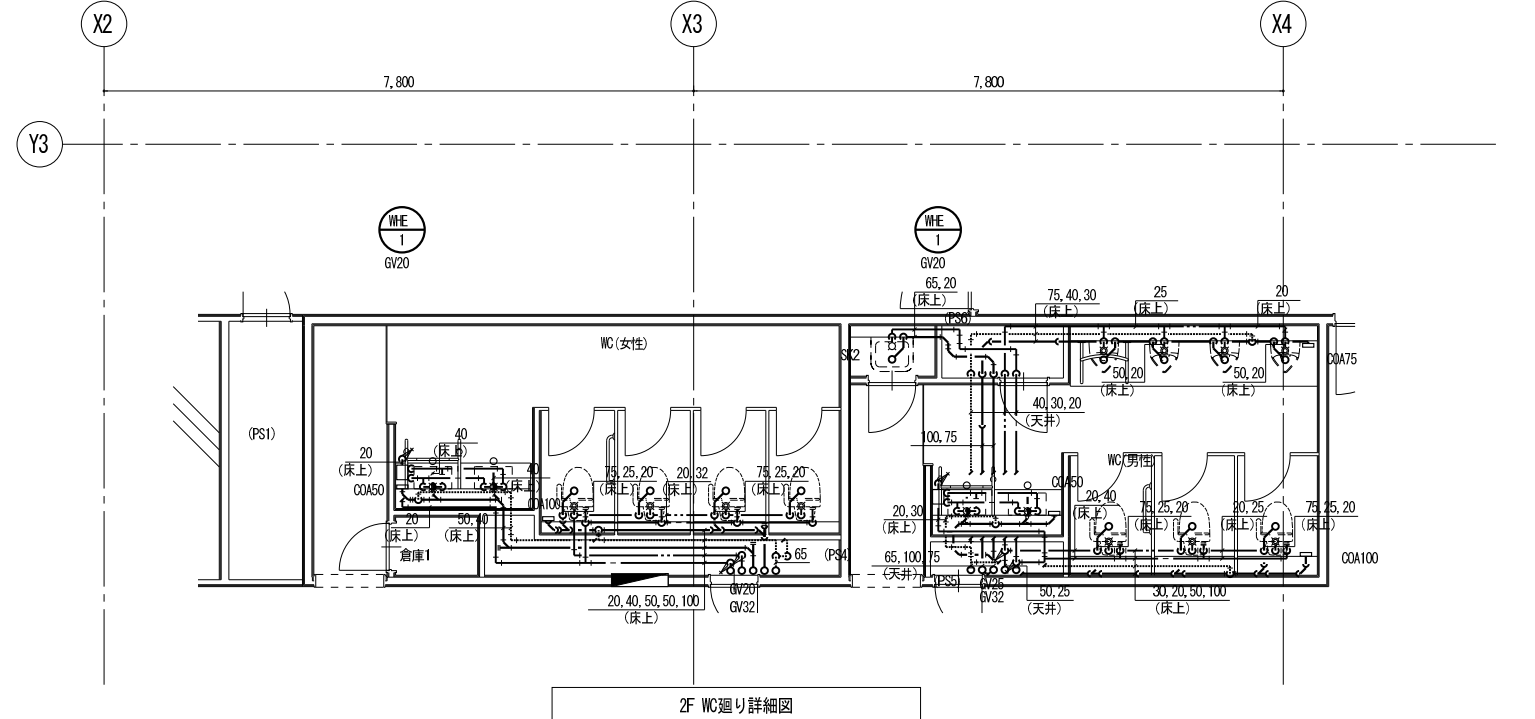
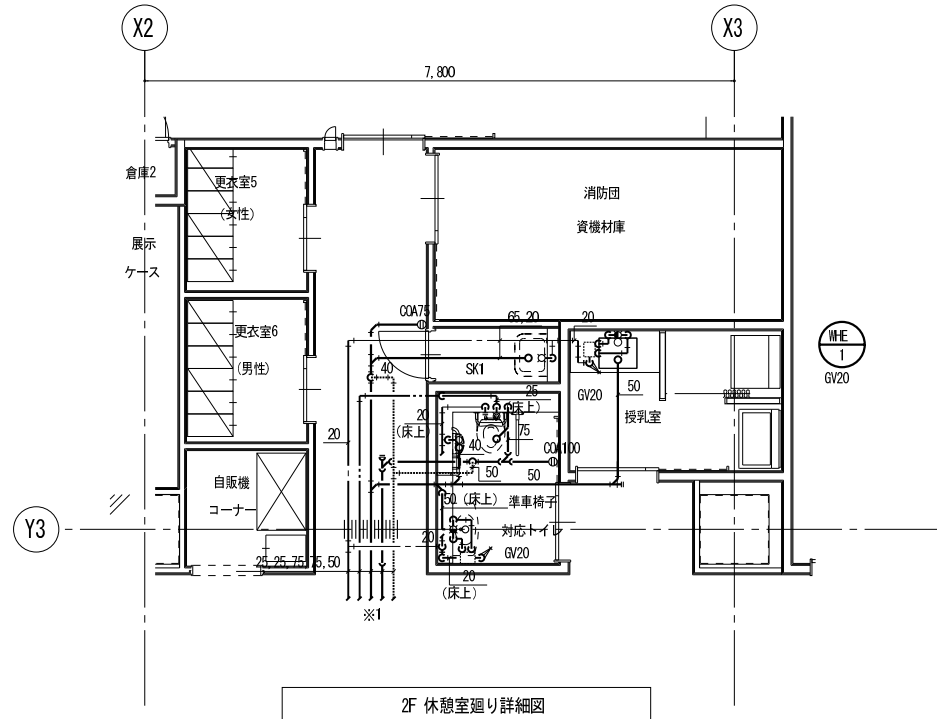
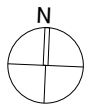
1F 受水槽・雨水ろ過機室廻り詳細図



1F 受水槽断面詳細図

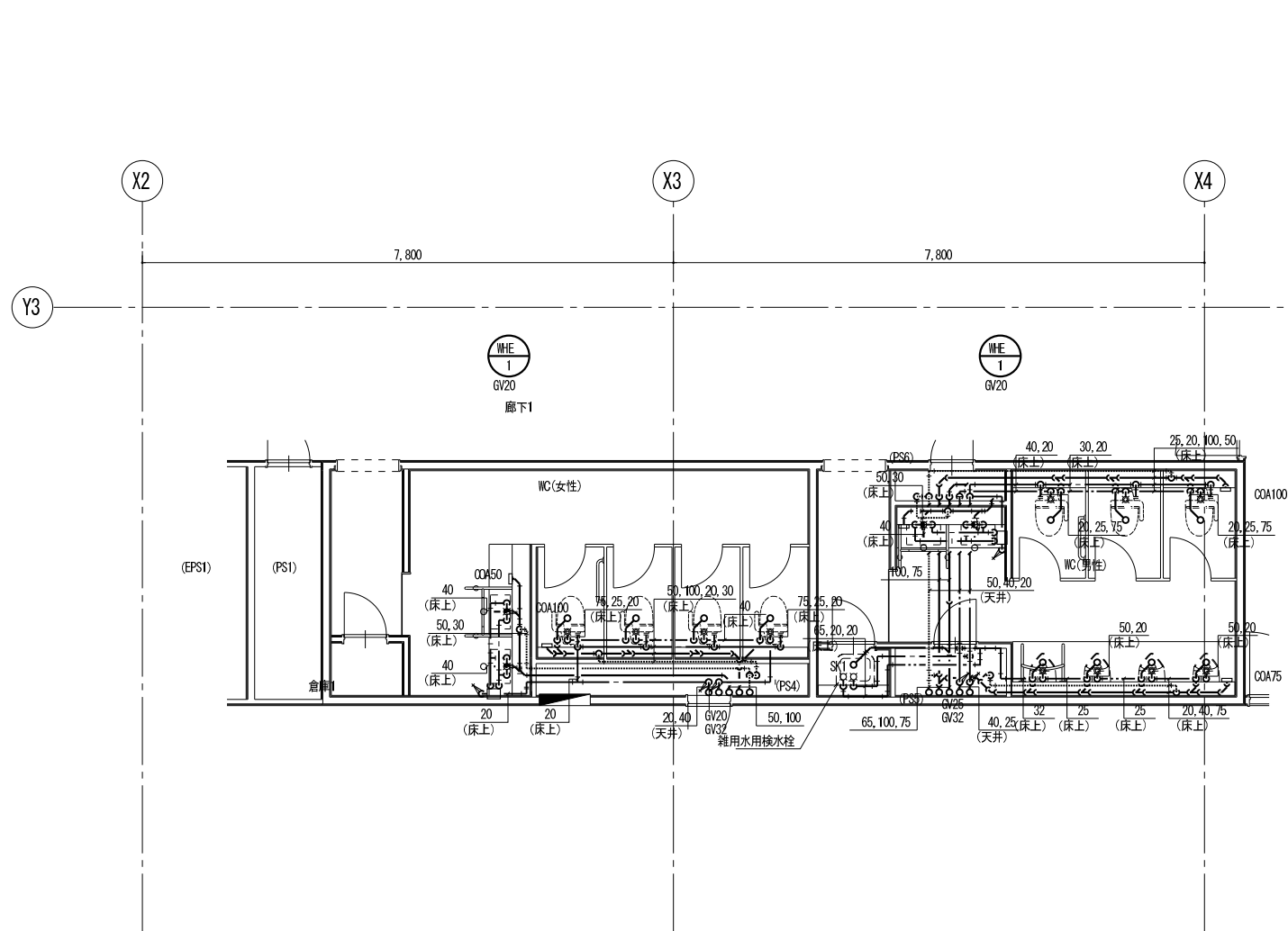
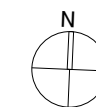
- 注記 1) 明記なき配管は、床下配管を示す。
 2) ※1は以降平面図参照を示す。
 3) は耐熱管 (HTVP) を示す。
 4) は、梁貫通を示す。

川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事		
C	庁舎棟 給排水衛生設備	
014	詳細図(1)	A1=1: 50 A3=1: 100
安井建築設計事務所		

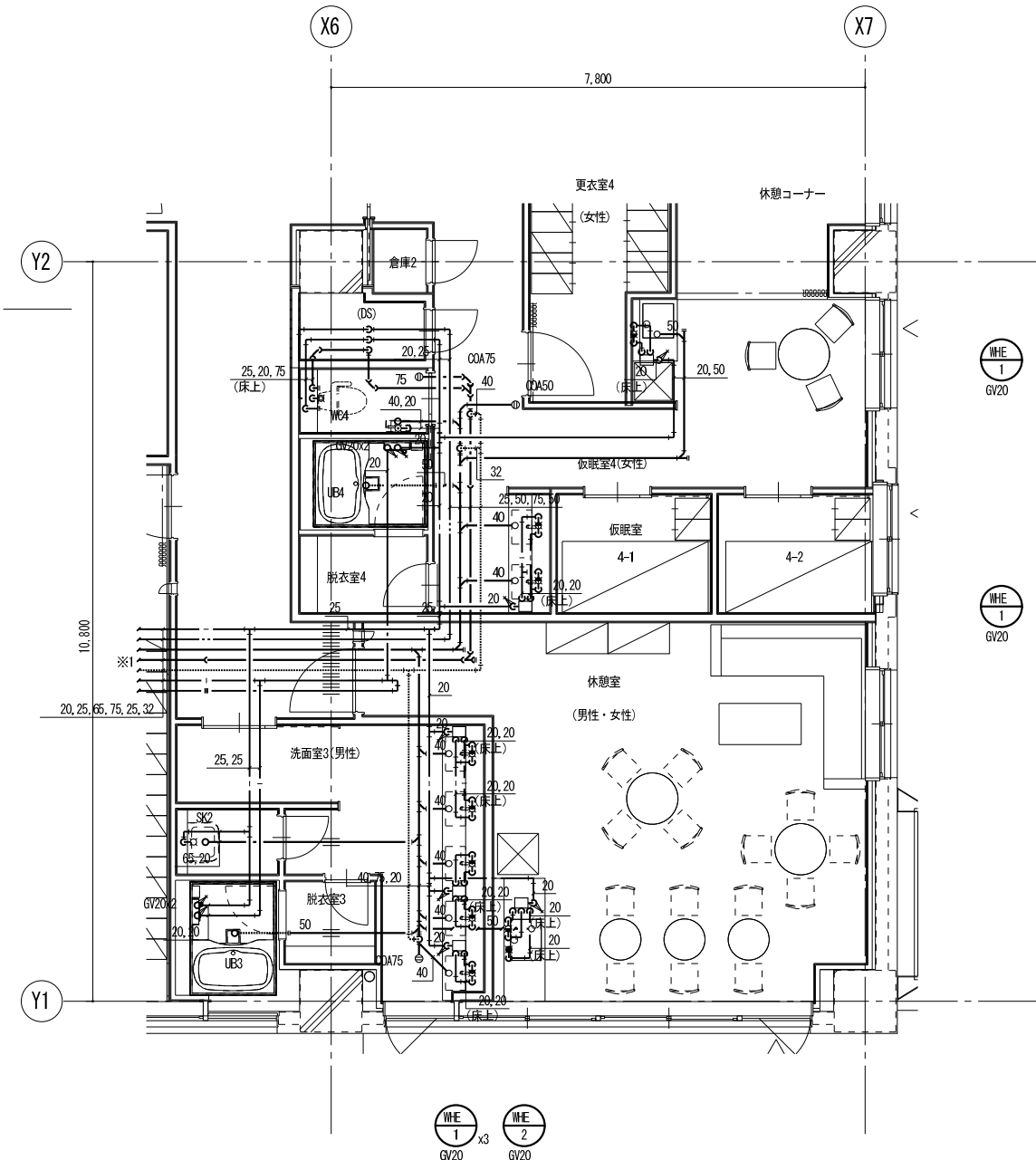


- 注記 1) 明記なき配管は、床下配管を示す。
 2) ※Iは以降平面図参照を示す。
 3) ○○○○○○ は耐熱管 (HTVP) を示す。
 4) ———— は、梁貫通を示す。
 5) 潜熱回収型ガス湯沸器からの排水は、流しに放流し、汚水として排水する。

川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事		
C	庁舎棟 給排水衛生設備	
015	詳細図(2)	A1=1: 50 A3=1: 100
安井建築設計事務所		



3F WC巡り詳細図



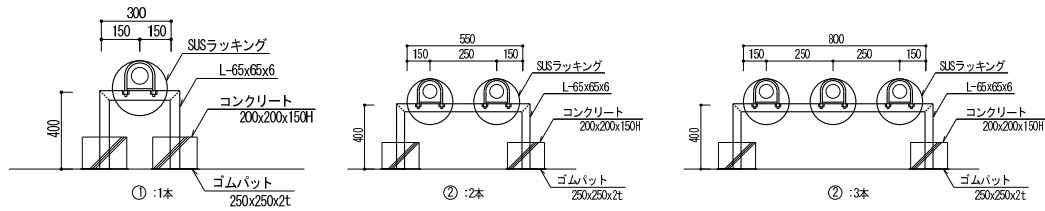
3F 休憩室巡り詳細図

注記 1) 明記なき配管は、床下配管を示す。
 2) ※IIは以降平面図参照を示す。
 3) ——— は、梁貫通を示す。

川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事		
C	庁舎棟 給排水衛生設備	
016	詳細図(3)	A1=1: 50 A3=1: 100
安井建築設計事務所		

配管架台要領図 (参考)

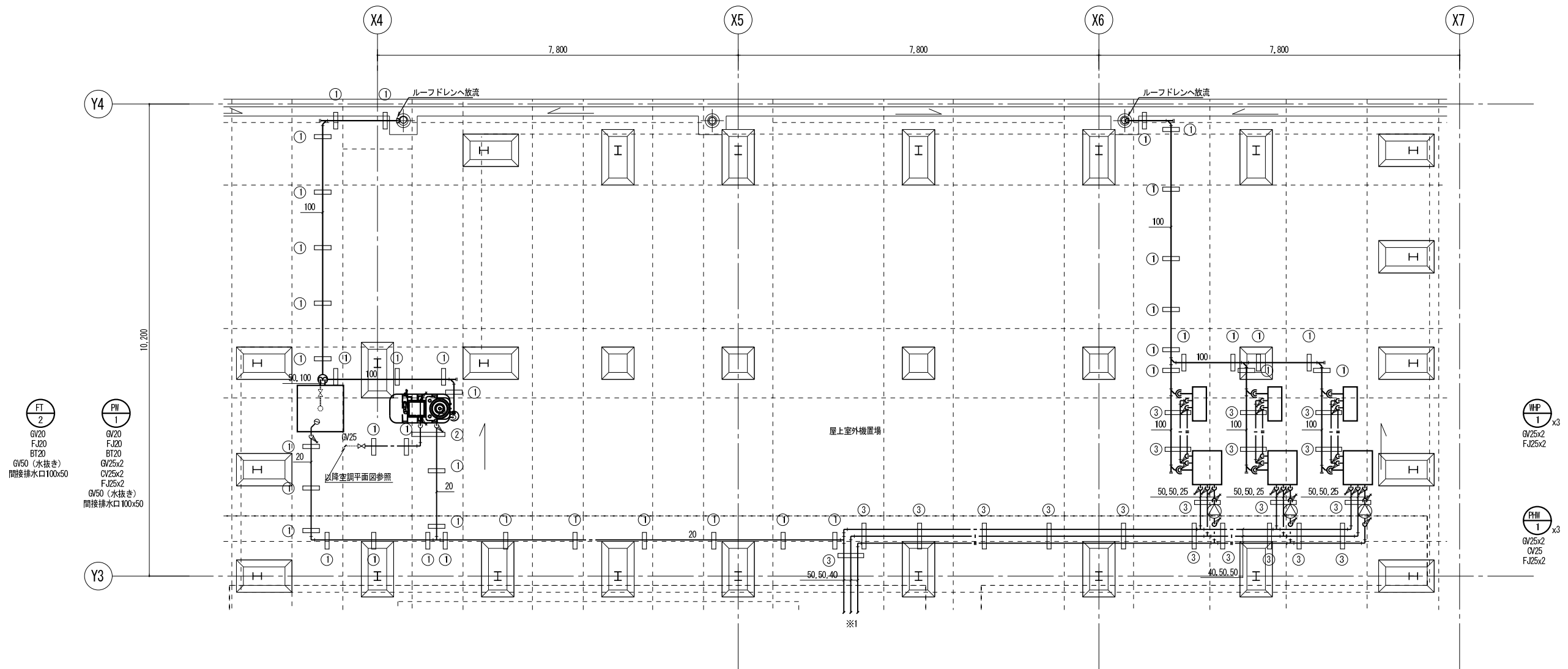
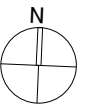
S-NLS



(注) 鋼材は溶融亜鉛メッキ仕上とする。

配管架台リスト

記号	個数
①	41
②	2
③	20



4F 屋上室外機置場廻り詳細図

注記 1) 明記なき配管は、屋外露出配管を示す。
2) ※Iは以降平面図参照を示す。

川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事		
C	庁舎棟 給排水衛生設備	
017	詳細図(4)	A1=1: 50 A3=1: 100
安井建築設計事務所		

凡 例

記号	名称	備考
○ Δ	閉鎖型泡水溶液ヘッド	0.25MPa-35L/min R=2.3m (直天井部分に設置) 参考: MHAJ002-72-U
▽	開放型泡水溶液ヘッド	0.25MPa-35L/min
↑	感知継手	R 3.25m-66℃
ニ	安全弁	特定駐車場用泡消火設備用 適用流体: 水、泡水溶液
●	流水検知装置	特定駐車場用泡消火設備用 65A 参考: MACJ002A-65
≡	混合器	参考: MTDJ002
Y	Y型ストレーナー	
フ	フレキシブルチューブ	
■	免震継手	
田	フート弁	
≡	オリフィス	
△	仕切弁	
▽	逆止弁	
○	排水弁	
Y	排水ホッパー	衛生工事
⊕	末端試験弁	
⊖	一次圧力調整弁	
□	圧カスイチ	
◇	圧力計	
⊕	流量測定装置	
↑	水位電極	(2P)
①	ボールタップ	衛生工事
②	ボールタップ	ユニット付属品
	フランジ止め	
---	配管	JIS-G-3452 (白)
----	埋設配管	WSP041 (SGP-VS)
⑤	以降給水	衛生工事
⑥	以降排水	衛生工事
---	電路	本工事
---	電路	電気工事
②	電路	電気工事 (至る火災受信機)
③	電路	電気工事 (AC200V (非常電源 (防災負荷用) 引込))
⊠	屋内消火栓 (易操作性1号)	消火栓弁 40A x 1 ホース 30Ax30mx1 一次側必要圧力0.38MPa
⊡	屋内消火栓 (易操作性1号)	消火栓弁 40A x 1 ホース 30Ax30mx1 一次側必要圧力0.38MPa 棒状噴霧切替ノズル 30Ax1 (閉閉装置付)
⊢	屋内消火栓 (易操作性1号)	消火栓弁 40A x 1 ホース 30Ax30mx1 一次側必要圧力0.38MPa 棒状噴霧切替ノズル 30Ax1 (シースル型)

注 記

- ◆ 屋内消火栓箱には、リング型表示灯付発信機の取付けを考慮すること。
- ◆ 屋上屋外露出充水配管は全て保温工事とする。
- ◆ 機器類の基礎は全て建築工事とする。
- ◆ 一次側電源は全て電気工事とする。なお、一次側電源には非常電源 (防災負荷用) も引き込むこと。
- ◆ 特定駐車場用泡消火設備は、特定機器評価の内容に準じた設備とする。
- ◆ 特定駐車場用泡消火設備において、流水検知装置の二次側配管には適宜エア抜き弁、水抜き弁等を設置すること。
- ◆ オーバースライダーシャッター下部の配管支持用鋼材は、建築工事とする。

火災受信機必要窓数

表示	ポンプ	呼水	放水	計
設備名	メイン	シャッター	放水	
屋内消火栓設備	1	1	0	3
特定駐車場用泡消火設備	1	1	1	5
合計	2	2	1	8

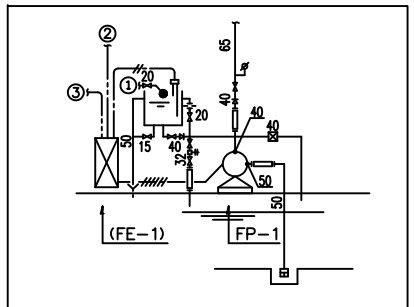
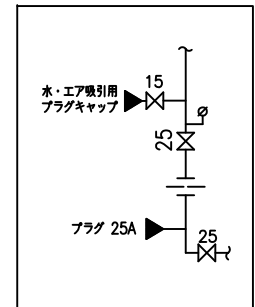
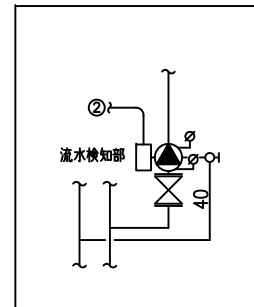
機器表

番号	名称	仕様
FP-1	屋内消火栓設備用ポンプ	ユニット型 (呼水槽付) 65φ x 40φ x 300L/min x 70m x 7.5kW x 三相200V x 50Hz 流量測定装置 32A 締切全揚程 113.8m
(FE-1)	屋内消火栓設備用ポンプ始動盤	ユニット組込型 7.5kW x 三相200V x 50Hz x 直入起動
FP-2	特定駐車場用泡消火設備用ポンプ	ユニット型 (呼水槽、圧力空気槽付) 65φ x 50φ x 400L/min x 80m x 11kW x 三相200V x 50Hz 流量測定装置 40A 締切全揚程 99.5m
(FE-2)	特定駐車場用泡消火設備用ポンプ始動盤	ユニット組込型 11kW x 三相200V x 50Hz x Y-Δ起動
JU-1	補助加圧ポンプ	ユニット型 (盤組込、受水槽付) 80m x 1.5kW x 三相200V x 50Hz x 直入起動 起動圧力値: 0.59MPa 停止圧力値: 0.79MPa 吐出量 概ね 10L/min (停止時の流量は 10L/min以下も可) 受水槽減水時停止、水位復旧時自動起動機能付き 特定駐車場用泡消火設備用泡消火薬剤混合装置 参考: MTDJ002 容量 120L
FT-1	補助用高架水槽	SUS製保温型 耐震 1.0G 有効 0.5m ³ 以上 寸法 1.0m x 1.0m x 1.0m 架台衛生工事
FT-2	補助用高架水槽	SUS製保温型 耐震 1.0G 有効 0.5m ³ 以上 寸法 1.0m x 1.0m x 1.0m 架台衛生工事

ポンプ揚水量	ポンプ台数	総揚水量
屋内消火栓設備	2台同時放水	2台同時 x 150L/min = 300 L/min
特定駐車場用泡消火設備	10個同時放水	400 L/min

水運容量	ポンプ台数	総水運容量
屋内消火栓設備	2台同時放水 x 2.6m ³	= 5.2m ³
特定駐車場用泡消火設備	ポンプ揚水量 x 10分間放水 400 L/min x 10min	= 4.0m ³

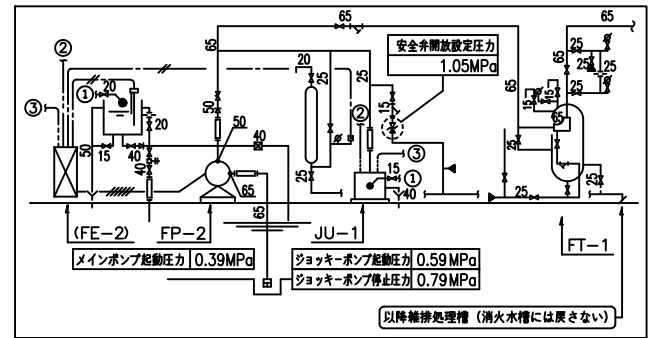
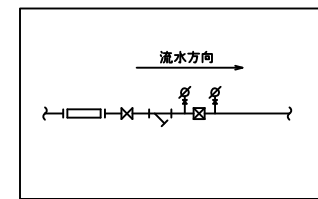
泡消火薬剤保有量	薬剤種類	保有量
特定駐車場用泡消火設備	水成膜泡消火薬剤 3% 型使用	ポンプ揚水量 x 10分間放水 x 混合率 400L/min x 10min x 0.03 = 120L



特定駐車場用泡消火設備用流水検知装置廻り詳細図

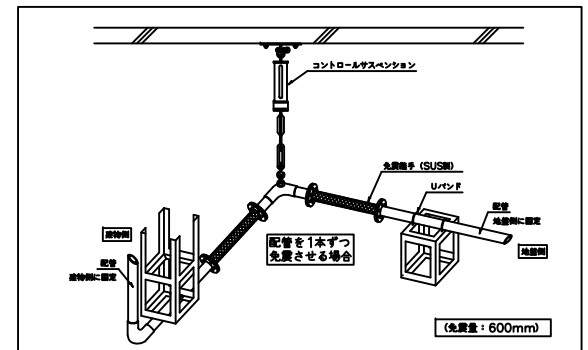
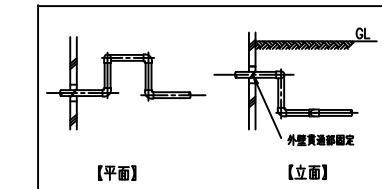
特定駐車場用泡消火設備用末端試験弁廻り詳細図

屋内消火栓設備用ポンプ廻り詳細図



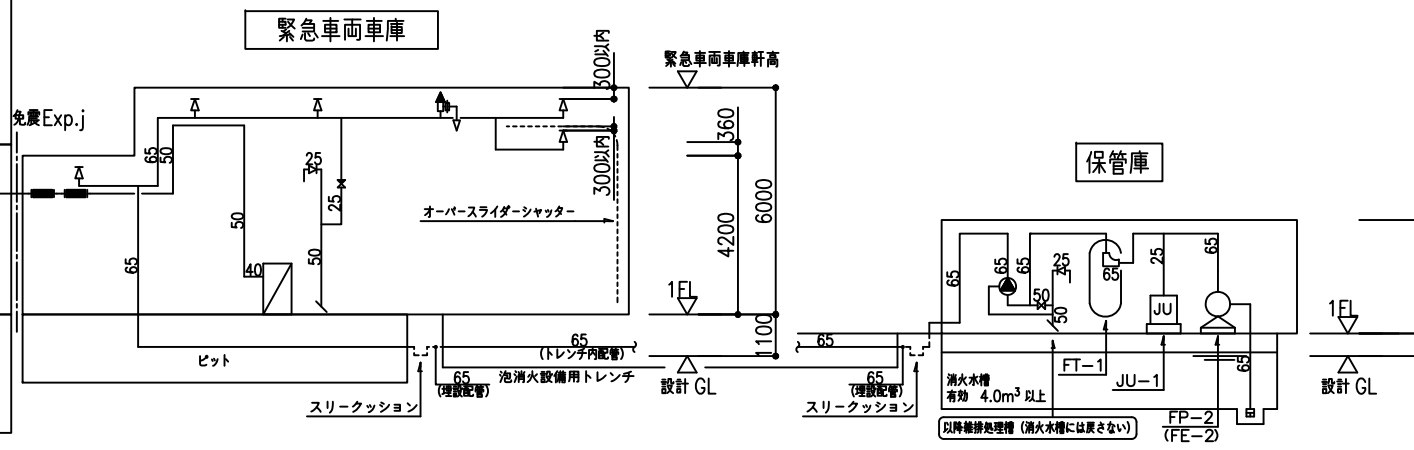
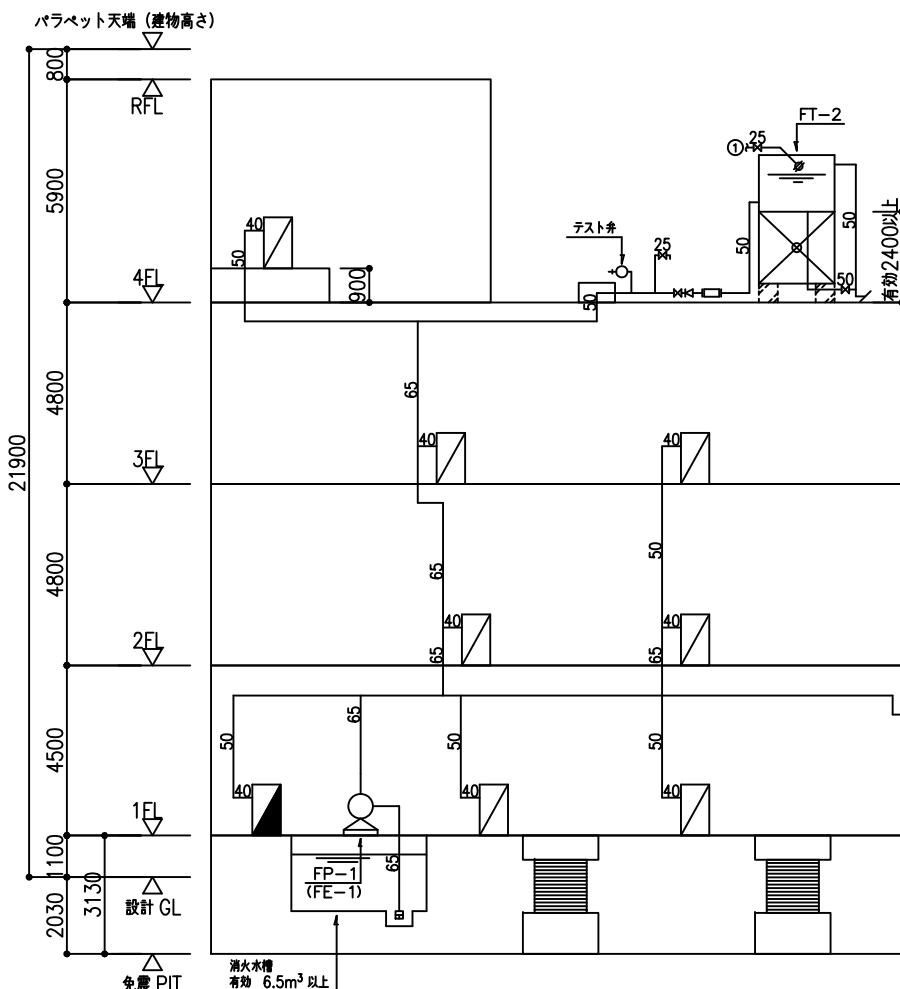
一次圧力調整弁廻り詳細図

特定駐車場用泡消火設備用ポンプ廻り詳細図

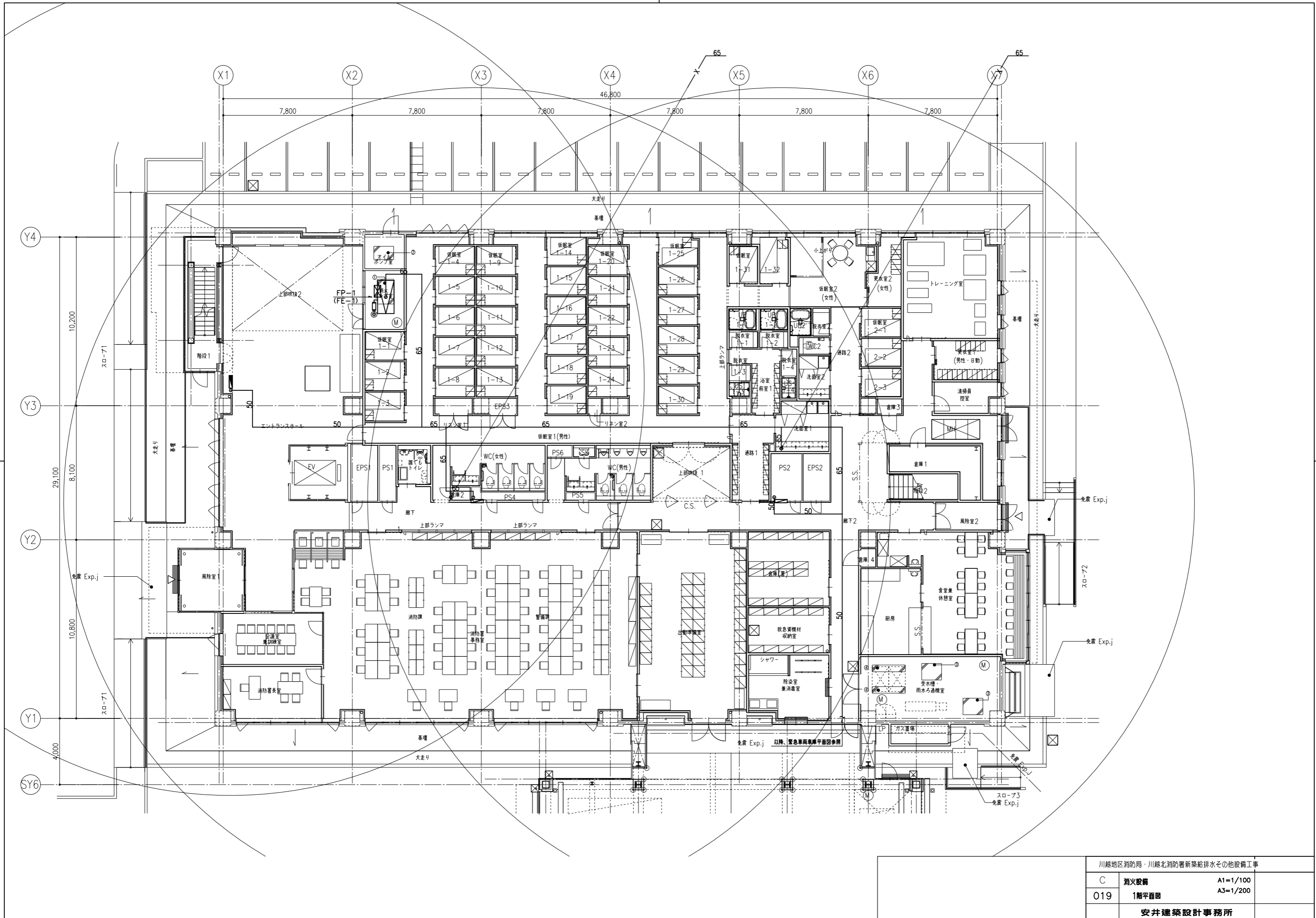


スリークッション詳細図

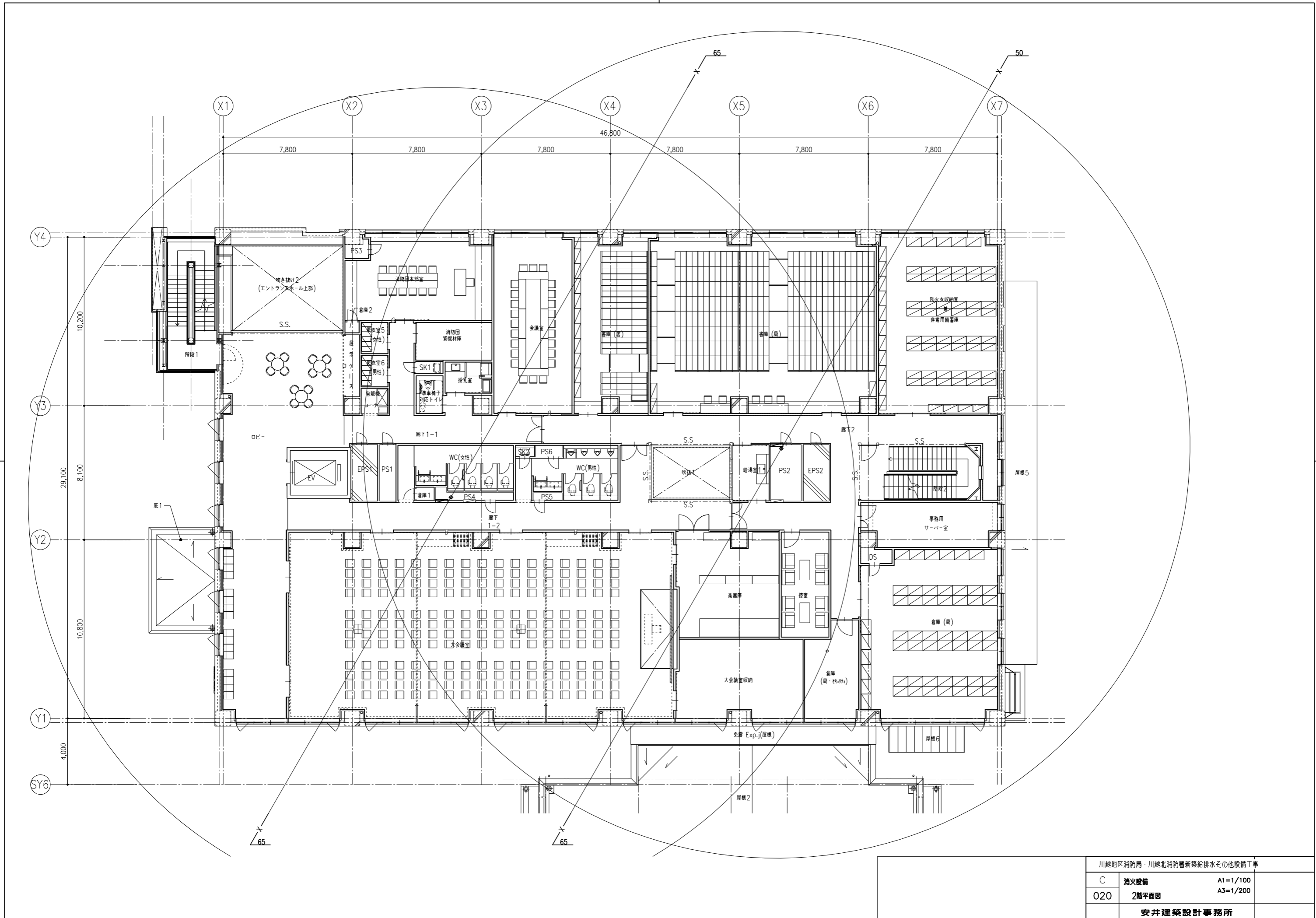
免震継手廻り詳細図例



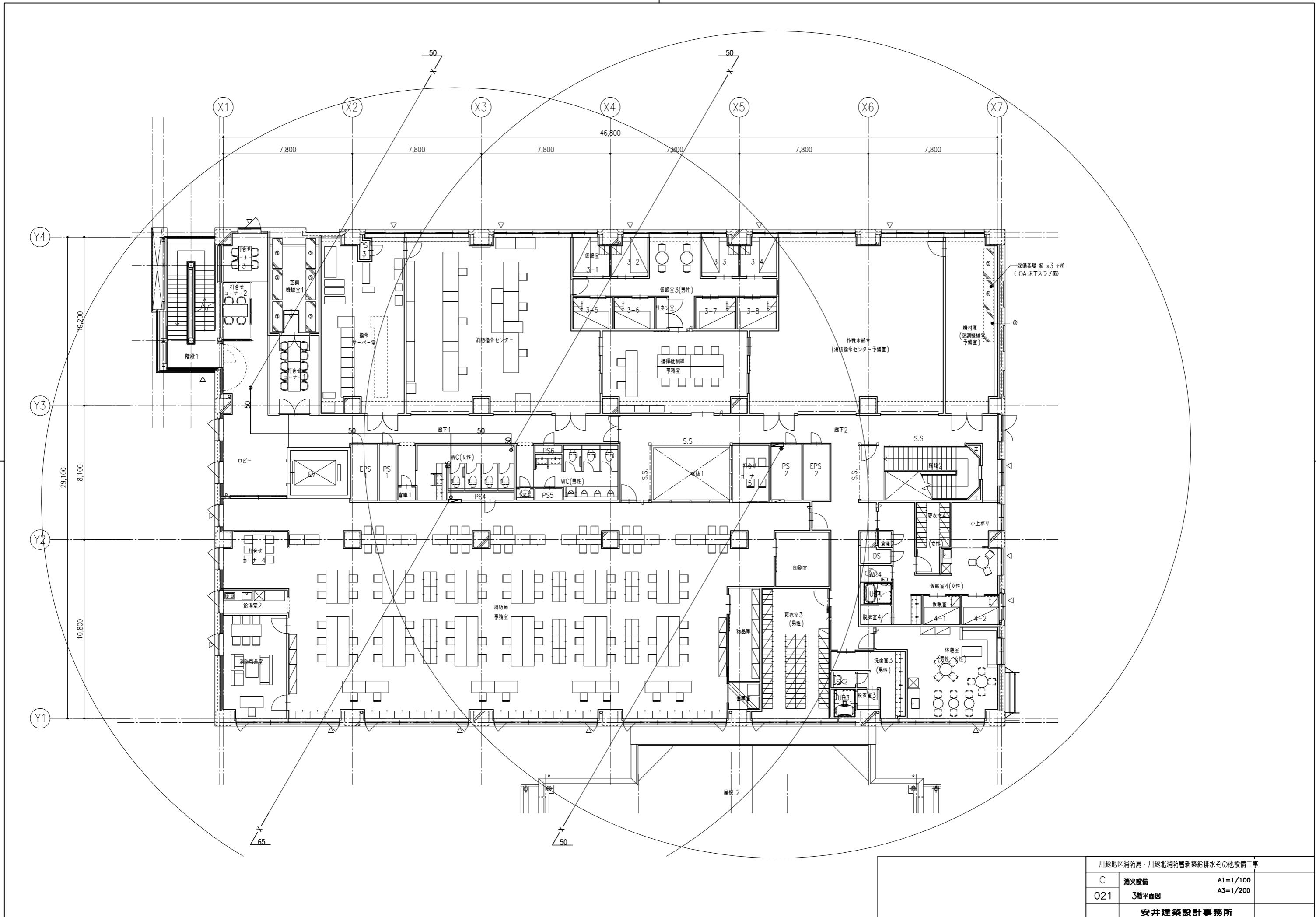
川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事		
C	消火設備	A1=NS
018	凡例・機器表・系統図	A3=NS
安井建築設計事務所		



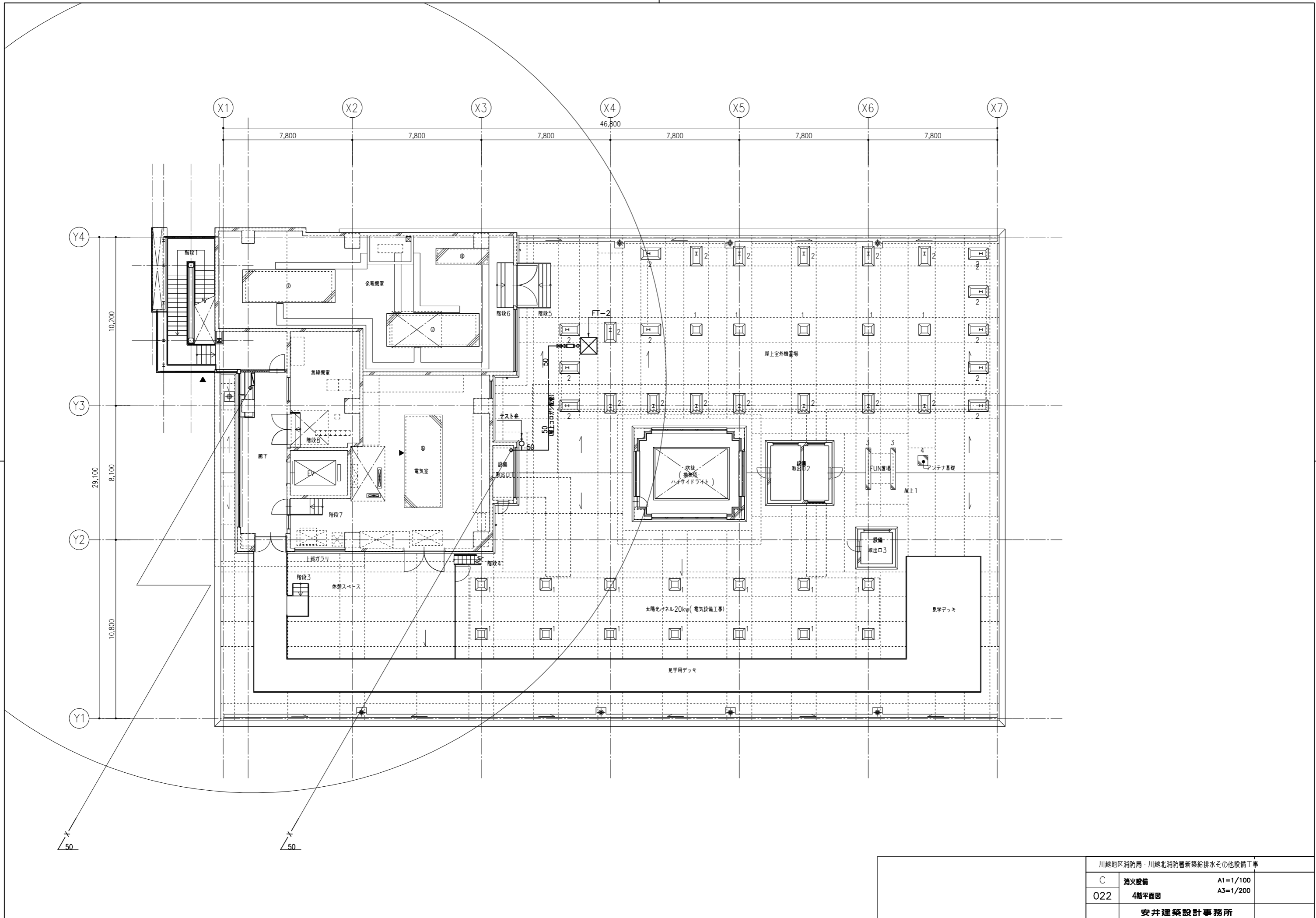
川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事		
C	消火設備	A1=1/100
019	1階平面図	A3=1/200
安井建築設計事務所		



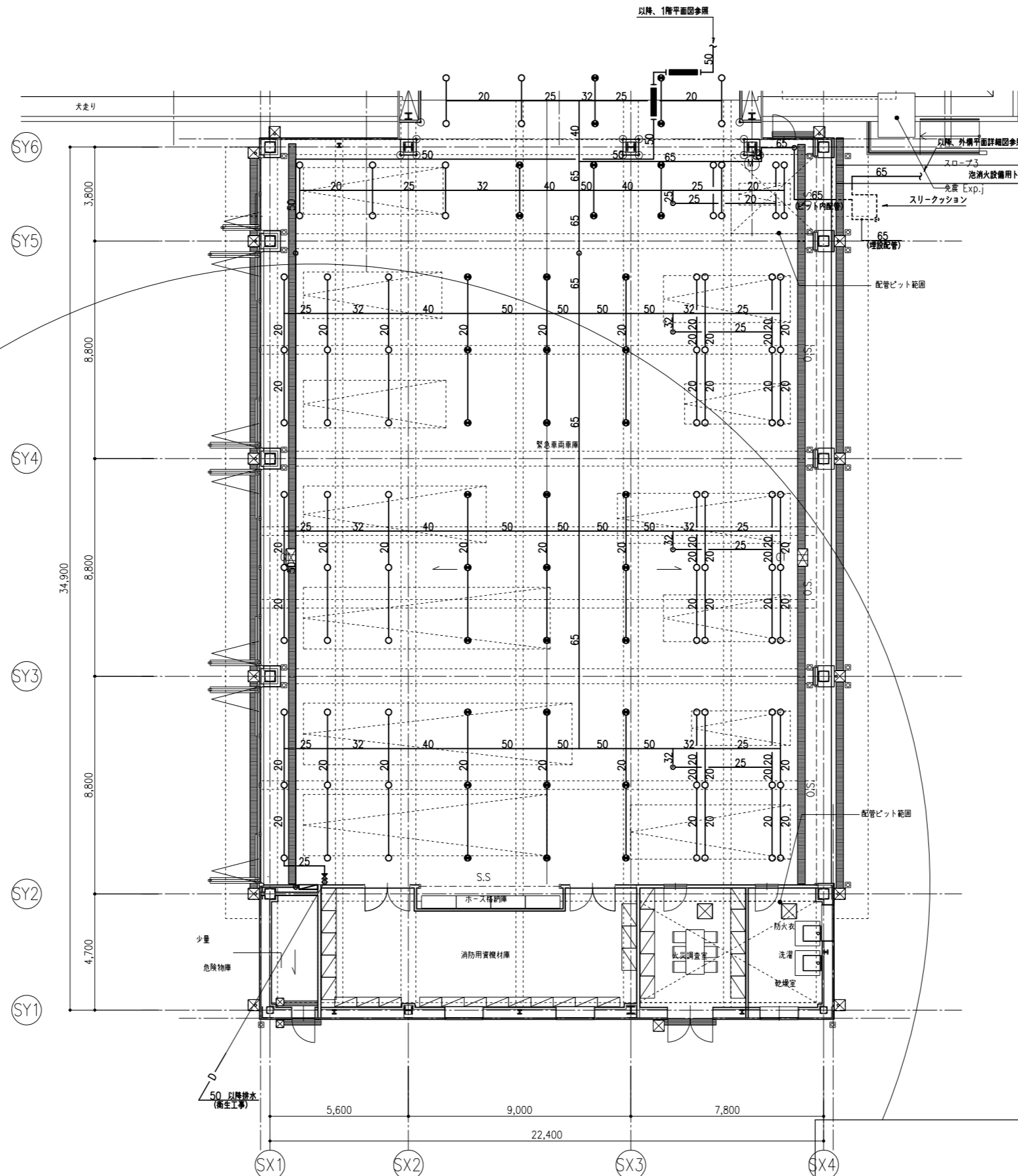
川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事		
C	消火設備	A1=1/100
020	2階平面図	A3=1/200
安井建築設計事務所		



川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事		
C	消火設備	A1=1/100
021	3階平面図	A3=1/200
安井建築設計事務所		



川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事		
C	消火設備	A1=1/100
022	4階平面図	A3=1/200
安井建築設計事務所		

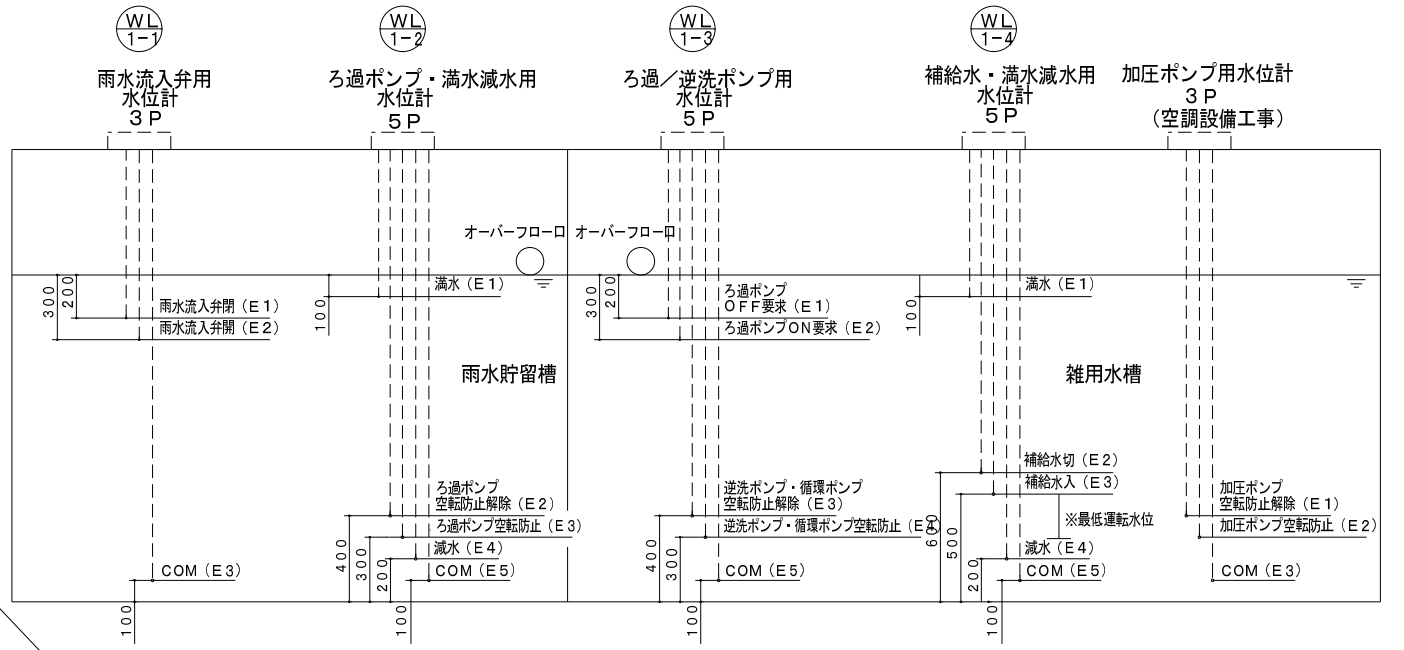


川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事		
C	消防設備	A1=1/100
023	緊急車両庫平面図	A3=1/200
安井建築設計事務所		

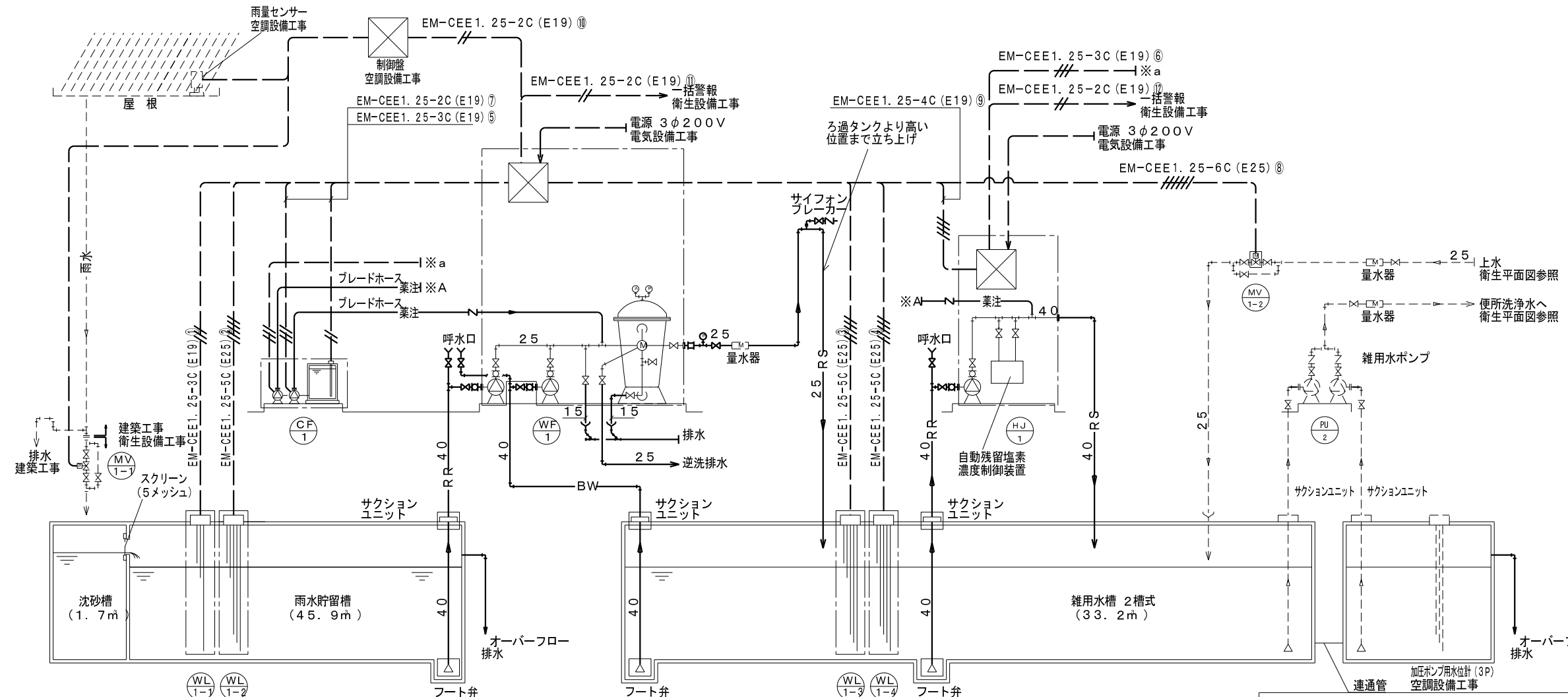
機器表

記号	名称	仕様	電気仕様			台数	備考
			相	電圧	電力		
WF-1	雨水処理用 FRP製全自動 砂ろ過装置	最大処理能力 2.8m ³ /h 最高使用圧力: 0.39MPa ろ過タンク φ300 タンク耐圧: 0.59MPa FRP製 ろ過材 ケイ砂系ろ過材 ろ過ポンプ 40A×40A×0.75kW×17.5m×47L/min SUS製 逆洗ポンプ 40A×40A×0.75kW×17.5m×50L/min SUS製 電動五方弁 25A 本体: 樹脂製、ボール: SUS316製 付属品 圧力計、空気抜弁、サンプリング水栓、ベース、サクシオンユニット×2、フート弁×2 ユニット内配管 VP 専用操作盤 ◇自動運転機能(ろ過-逆洗-洗浄) ◇一括警報出力 ◇水位調節機能 ◇電源/警報ランプ表示 ◇薬液レベルセンサ制御 ◇薬液過水信号出力 ◇雨水流入弁開信号出力 ◇ポンプ運転許可信号出力	3φ	200V	2.0kW	1	
CF-1	薬注装置	薬注ポンプ 最大吐出量: 30ml/min×1.0MPa 10W ×2台 薬液タンク 120L PE製 付属品 サイフォン防止弁、ポンプカバー、薬液レベルセンサ	1φ	200V		1	
HJ-1	薬注装置	循環ポンプ 40A×32A×0.4kW ナイロンコーティング ポーラログラフ式、通常制御範囲: ~3ppm (高濃度制御: 1~5ppm) 自動残留塩素濃度制御装置 ガラスビーズ洗浄及び電気洗浄方式、自動感度調節制御、データロガー機能 アラーム時自動バックアップ機能、ウィークリタイマー機能付高濃度塩素消毒機能 付属品 ベース、サクシオンユニット、フート弁 専用操作盤 ◇自動運転機能 ◇循環ポンプ制御 ◇薬注制御 ◇自動残留塩素濃度制御 ◇一括警報出力 ◇ポンプ運転許可信号入力 ◇薬液レベルセンサ制御 ◇薬液過水信号入力	3φ	200V		1	
WL1-1	水位計	電極式(3P) SUS製 2m仕様				1	
WL1-2	水位計	電極式(5P) SUS製 2m仕様				3	
WL1-3							
WL1-4							
MV1-1	雨水流入弁	ナイフゲート弁 250A	1φ	200V		1	
MV1-2	補給水弁	電動二方弁 25A SUS製 18W	1φ	200V		1	

水位計調整図



※ 寸法はレベル位置を示すもので参考とする。



シンボルマーク一覧表

⊙	ポンプ	□	レギュレーター
⊕	電動五方弁	⊕	温度計
⊖	電動二方弁	⊕	圧力計
⊗	仕切弁	⊕	自動空気抜弁
⊘	逆洗弁	⊕	フレキシブルジョイント
⊙	水位計(電極式)	⊕	フレキシブルジョイント(耐震用)
⊙	制御盤	⊕	免震継手
		⊕	量水器

配管記号表

名称	記号	管材
ろ過吸込管	RR	VP
ろ過吐出管	RS	VP
逆洗吸込管	BW	VP
給水管	-	SUS

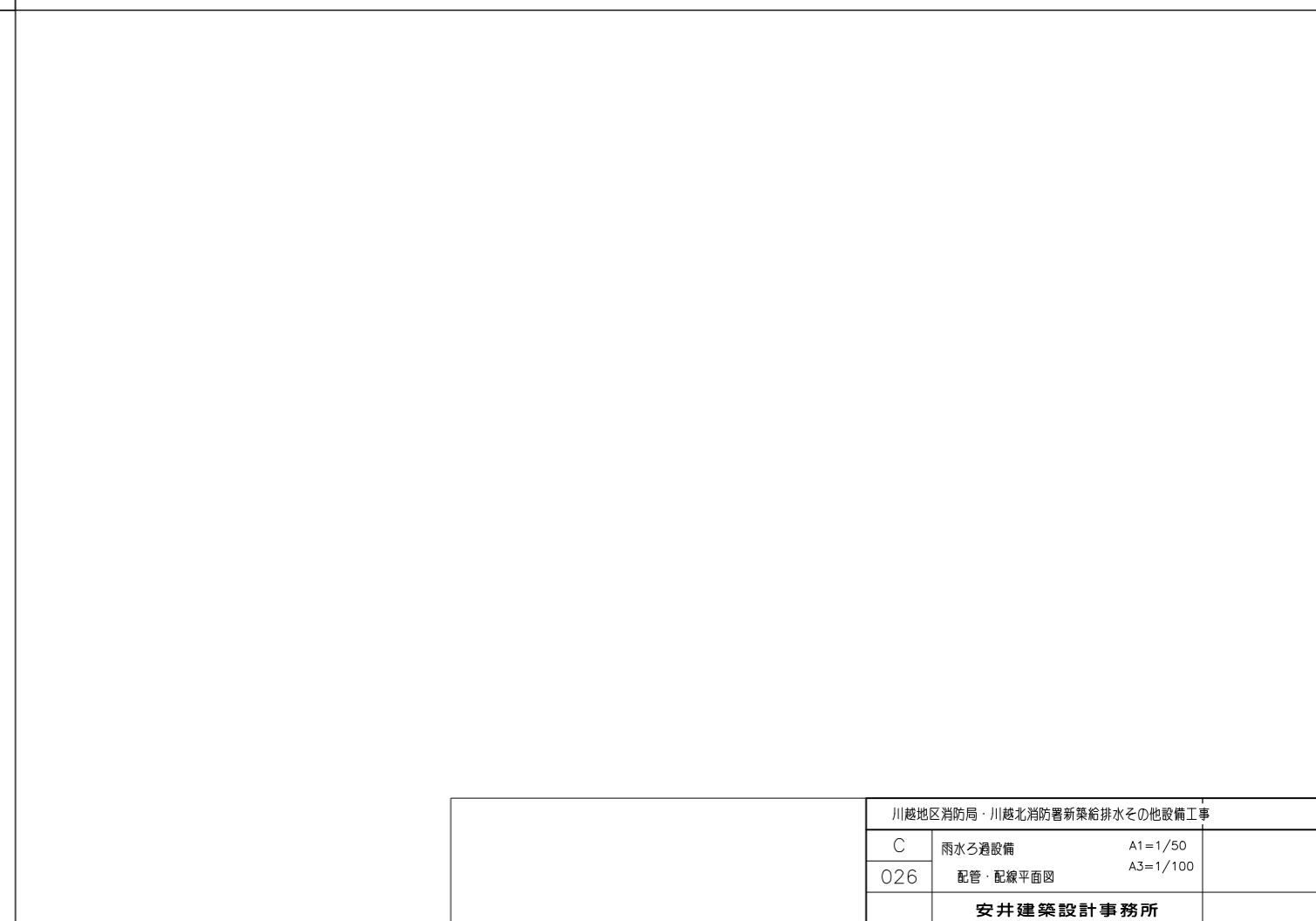
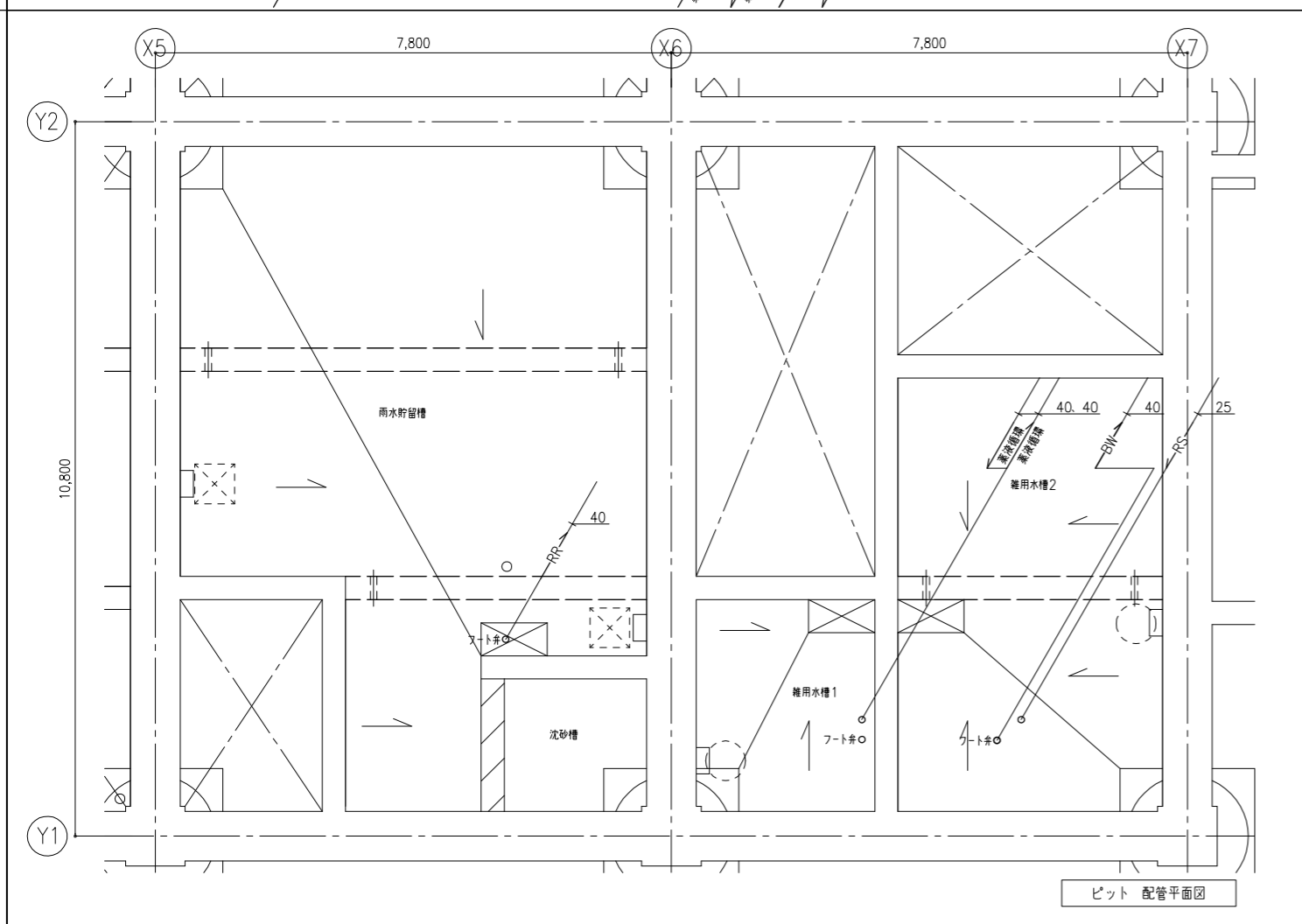
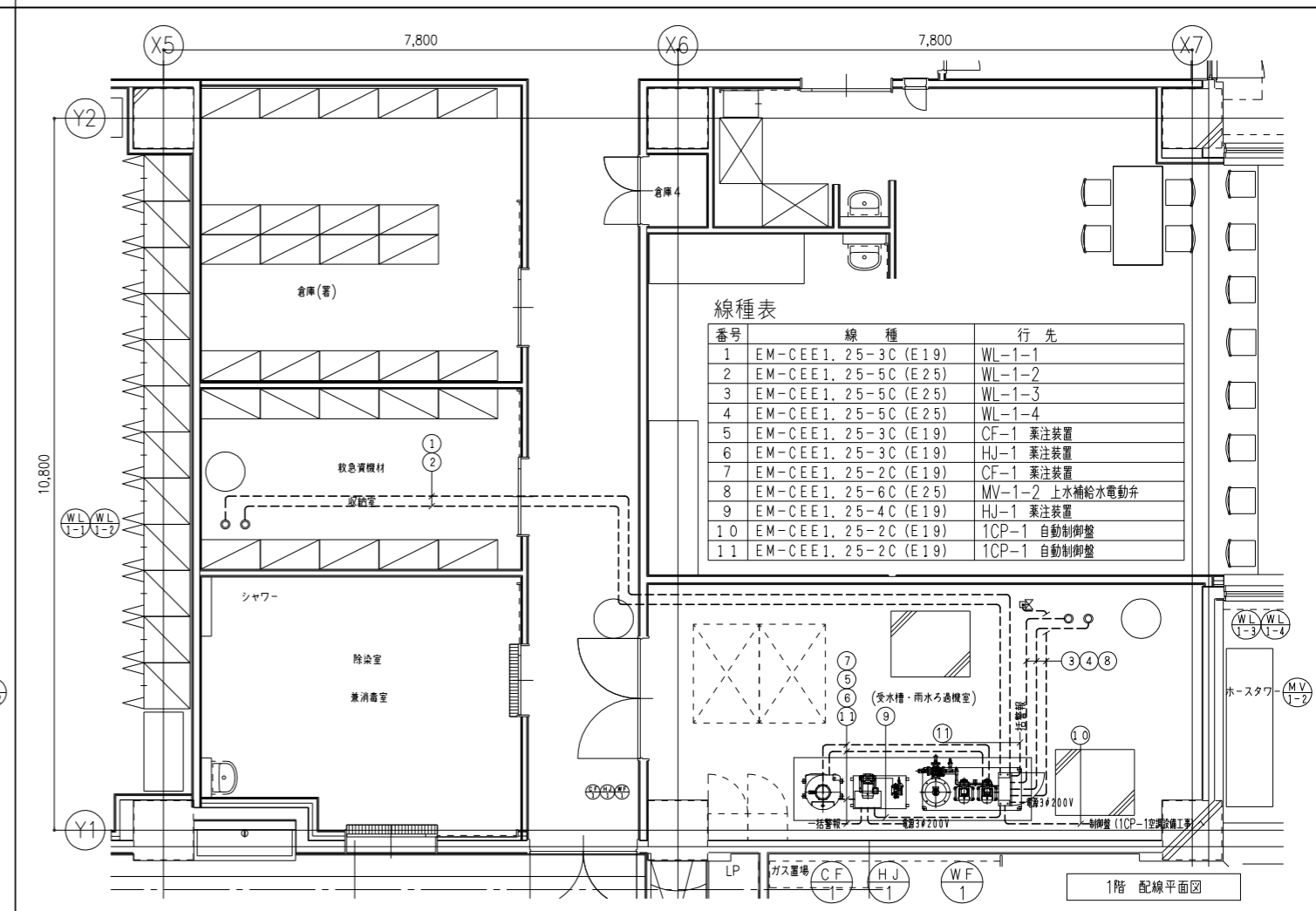
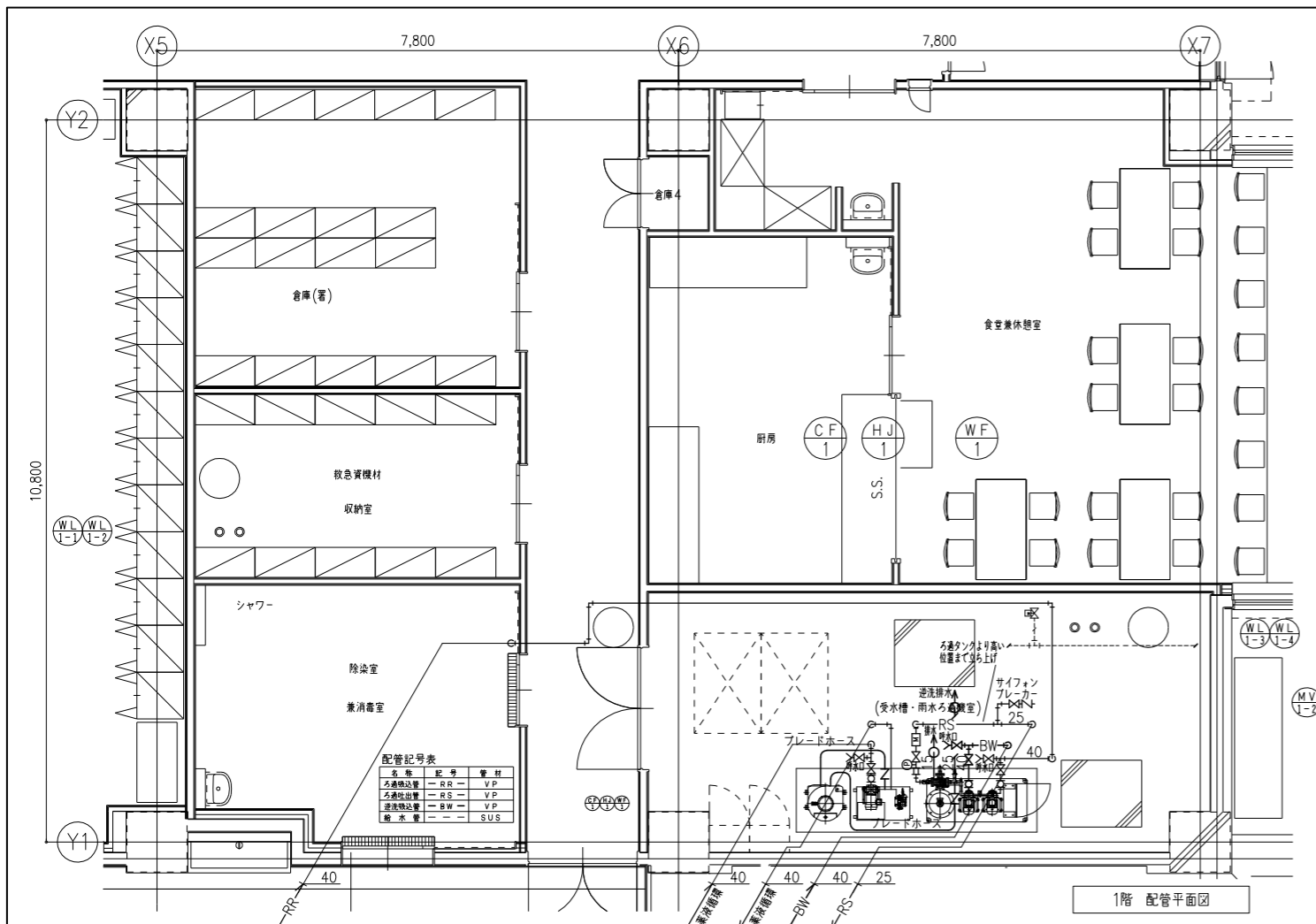
電線記号表

記号	電線記号
EM-CEE1. 25-5C (E25)	EM-CEE1. 25-5C (E25)

線種・太さ・本数・電線管は例示とする。

- 注記
- ろ過メーカー供給範囲外配管は衛生設備工事。
 - ろ過メーカー供給範囲外配線は衛生設備工事。
 - 一次側電源は電気設備工事。
 - ()で示す水槽容量は有効容量とする。
 - ※aは配線、※Aは配管の繋ぎを示す。

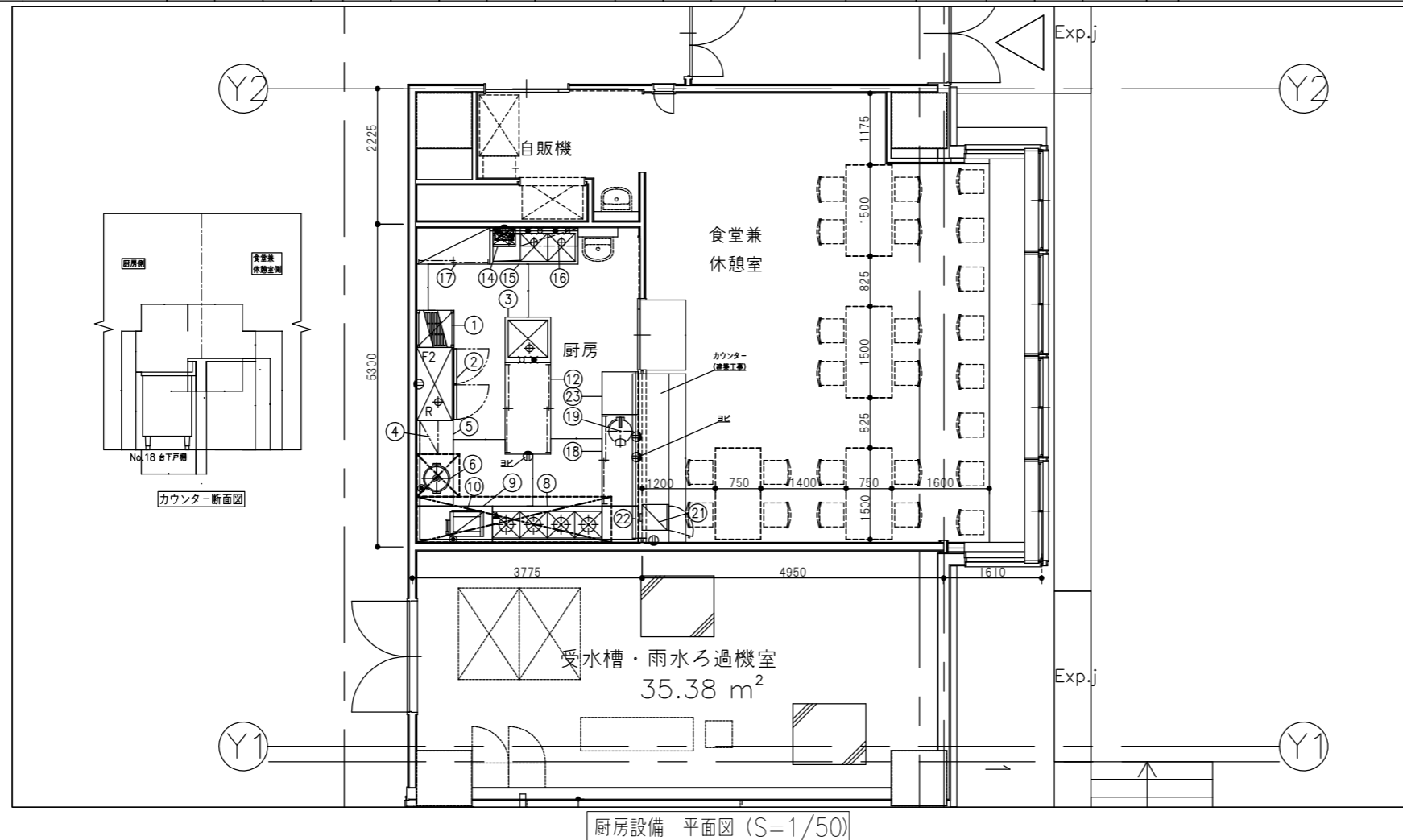
川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事		
C	雨水ろ過設備	A1=NS
025	機器表、系統図	A3=NS
安井建築設計事務所		



川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事		
C	雨水ろ過設備	A1=1/50
026	配管・配線平面図	A3=1/100
安井建築設計事務所		

厨房器具リスト

No.	品名	寸法(mm)			台数	配管口径(A)			ガス		蒸気			電気			冷却水()			備考
		間口	奥行	高さ		給水(A)	給湯(A)	排水(A)	配管口径(A)	消費熱量(kW)	給気(A)	排気(A)	消費量(kg/h)	1φ100V(kW)	1φ200V(kW)	3φ200V(kW)	入口径(A)	出口径(A)	消費量(L/h)	
1	シェルフ (ベンチ4段)	610	610	1830	1															NSF仕様
2	冷凍冷蔵庫	1200	655	1950	1			50					0.470							冷凍378L 冷蔵2室378L インバーター 両扉ステンレス仕様
3	一槽シンク	750	750	850	1	15	15	50												
4	上棚	550	300	1段	1															
5	台	1400	600	850	1															
6	ガス炊飯器	490	435	442	1			15	5.52											○ 低輻射タイプ
7	欠番																			
8	ガステーブル	1800	600	850	1			25	69.7											G
9	脇台	1242	600	850	1															
10	焼物器	613	425	602	1			15	5.70											G
11	欠番																			
12	台下戸棚 (両面)	1500	750	850	1															
13	欠番																			
14	ガス瞬間湯沸器				1	15	15	高温 15	29.4				0.2							○ 設備工事 (衛生機器表にて記載)
15	水切付二槽シンク	1450	600	850	1	15×2	15×2	50×2												
16	上棚	950	300	2段	1															
17	戸棚	1200	600	1800	1															
18	台下戸棚	1500	600	850	1															
19	電気ジャー炊飯器	469	380	399	1								1.31							3.6リットル (2升) 炊き
20	欠番																			
21	電子レンジ	422	476	337	1								2.8							*漏電ブレーカーはインバーター対応のこと
22	コーナー台	600	600	850	1															
23	台	700	600	850	1															
	予備容量												1.5×2							
	設備容量合計								110.32				4.98	2.8						



厨房設備 平面図 (S=1/50)

川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事

C	厨房設備	A1=NS
027	器具リスト、平面図	A3=NS

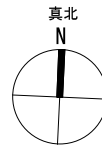
安井建築設計事務所

(約6ヶ月)3-1

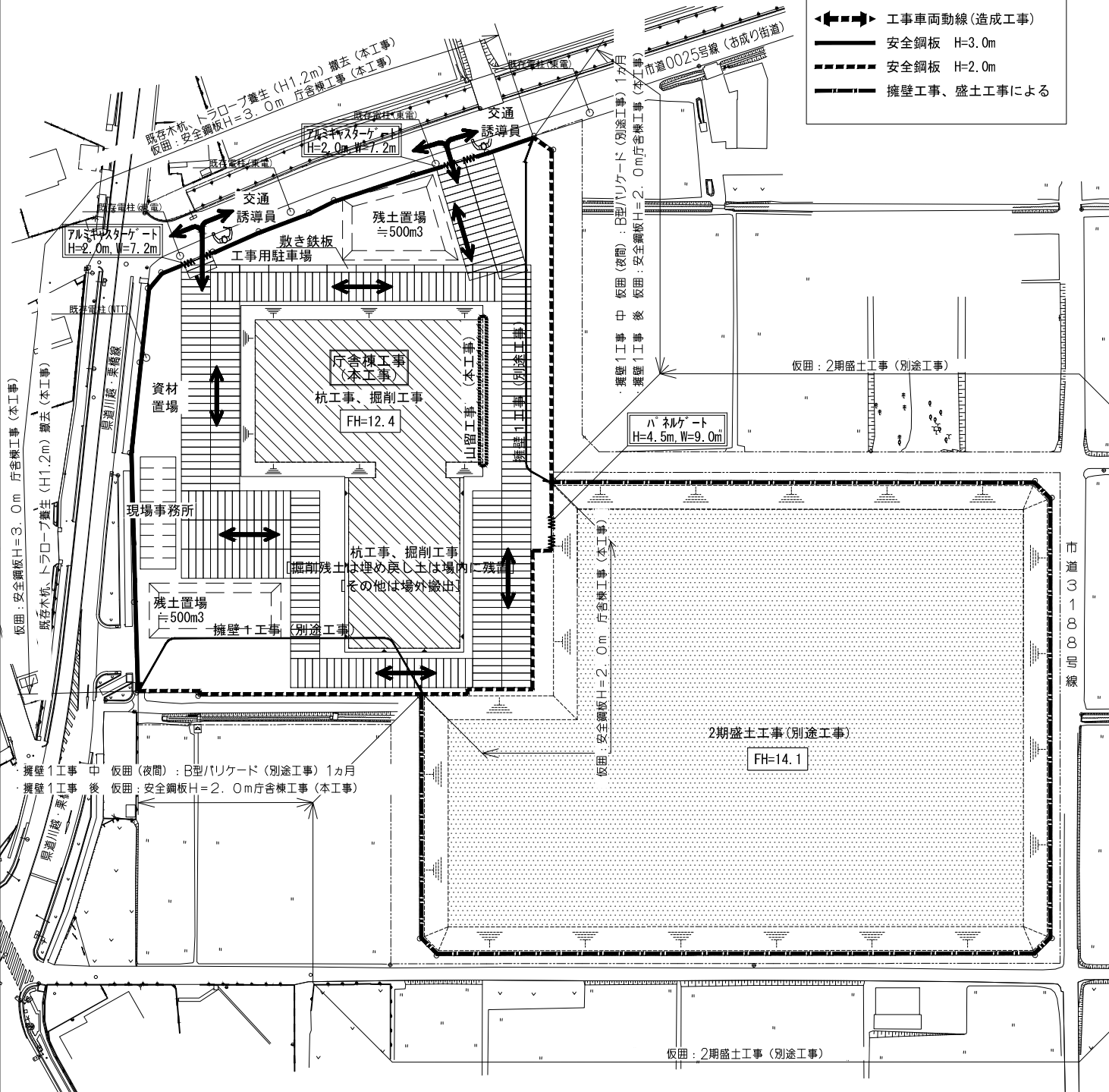
【庁舎棟工事】(本工事)
準備工事、杭工事、山留工事、掘削工事

【2期盛土工事】(別途工事)
【擁壁1工事】(別途工事)

・敷鉄板：2934㎡(庁舎棟工事)(本工事)



- 凡例
- ↔ 工事車両動線(建築工事)
 - ⇄ 工事車両動線(造成工事)
 - 安全鋼板 H=3.0m
 - - - 安全鋼板 H=2.0m
 - 擁壁工事、盛土工事による

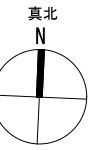


(約3ヶ月)3-2

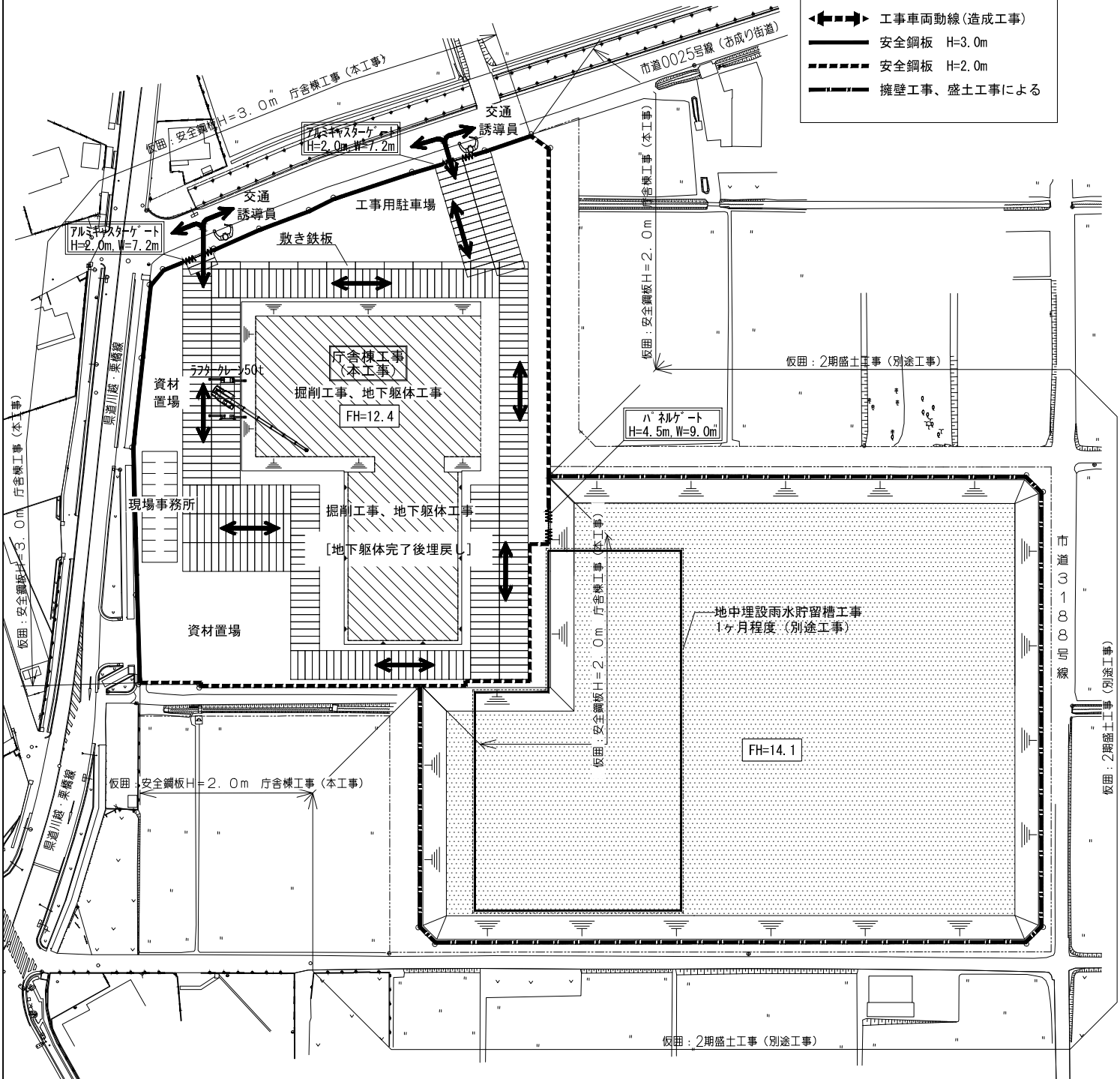
【庁舎棟工事】(本工事)
地下躯体工事

【2期盛土工事】(別途工事)
【雨水貯留槽工事】(別途工事)

・敷鉄板：2934㎡(庁舎棟工事)(本工事)



- 凡例
- ↔ 工事車両動線(建築工事)
 - ⇄ 工事車両動線(造成工事)
 - 安全鋼板 H=3.0m
 - - - 安全鋼板 H=2.0m
 - 擁壁工事、盛土工事による



254号

254号

既存電柱(東電、NTT)は工事期間中に移設の可能性あり。(別途工事)

◎	境界石	設計QL=KBM-0.097=TP+12.20
⊕	ベンチマーク	配置基準寸法を示す
—	敷地境界線	
0.00	現況地盤面レベル	
0.00	計画地盤面レベル	

川越地区消防局・川越北消防署新築工事		
K	仮設	A1=1: 600 A3=1: 1200
01	総合仮設計画図(1)(参考図)	
安井建築設計事務所		

(約4ヶ月) 4-1

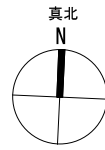
【庁舎棟工事】(本工事)
地上工事

【訓練塔工事】(別途工事)
準備工事

【雨水貯留槽工事】(別途工事)

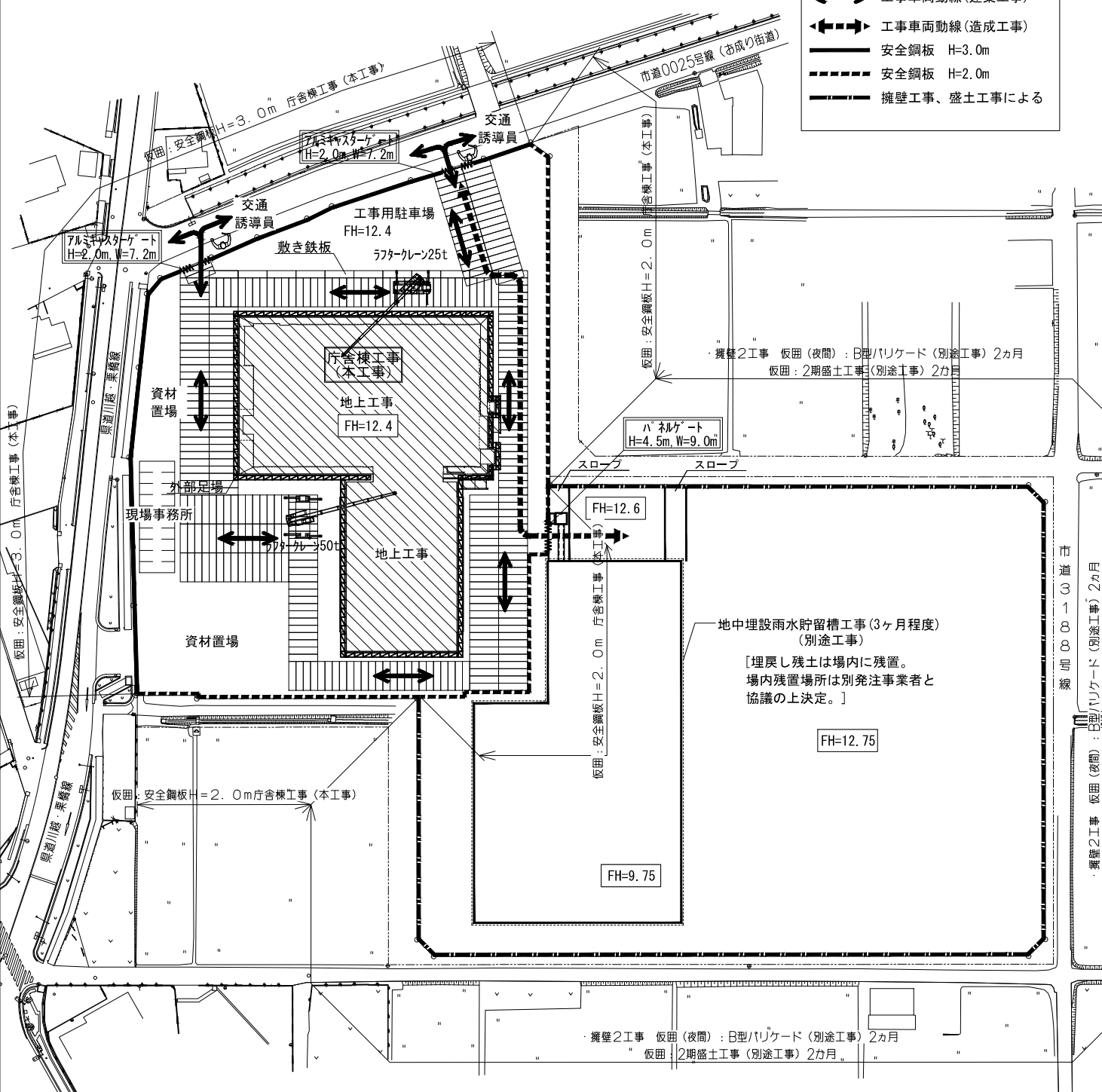
【敷地外水路工事】(別途工事)

・敷鉄板：2934㎡(庁舎棟工事)(本工事)



凡例

	工事車両動線(建築工事)
	工事車両動線(造成工事)
	安全鋼板 H=3.0m
	安全鋼板 H=2.0m
	擁壁工事、盛土工事による



(約2ヶ月) 4-2

【庁舎棟工事】(本工事)
地上工事

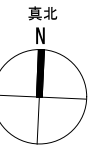
【訓練塔工事】(別途工事)
杭工事、地下躯体工事、地上工事

【雨水貯留槽工事】(別途工事)

【擁壁2工事】(別途工事)

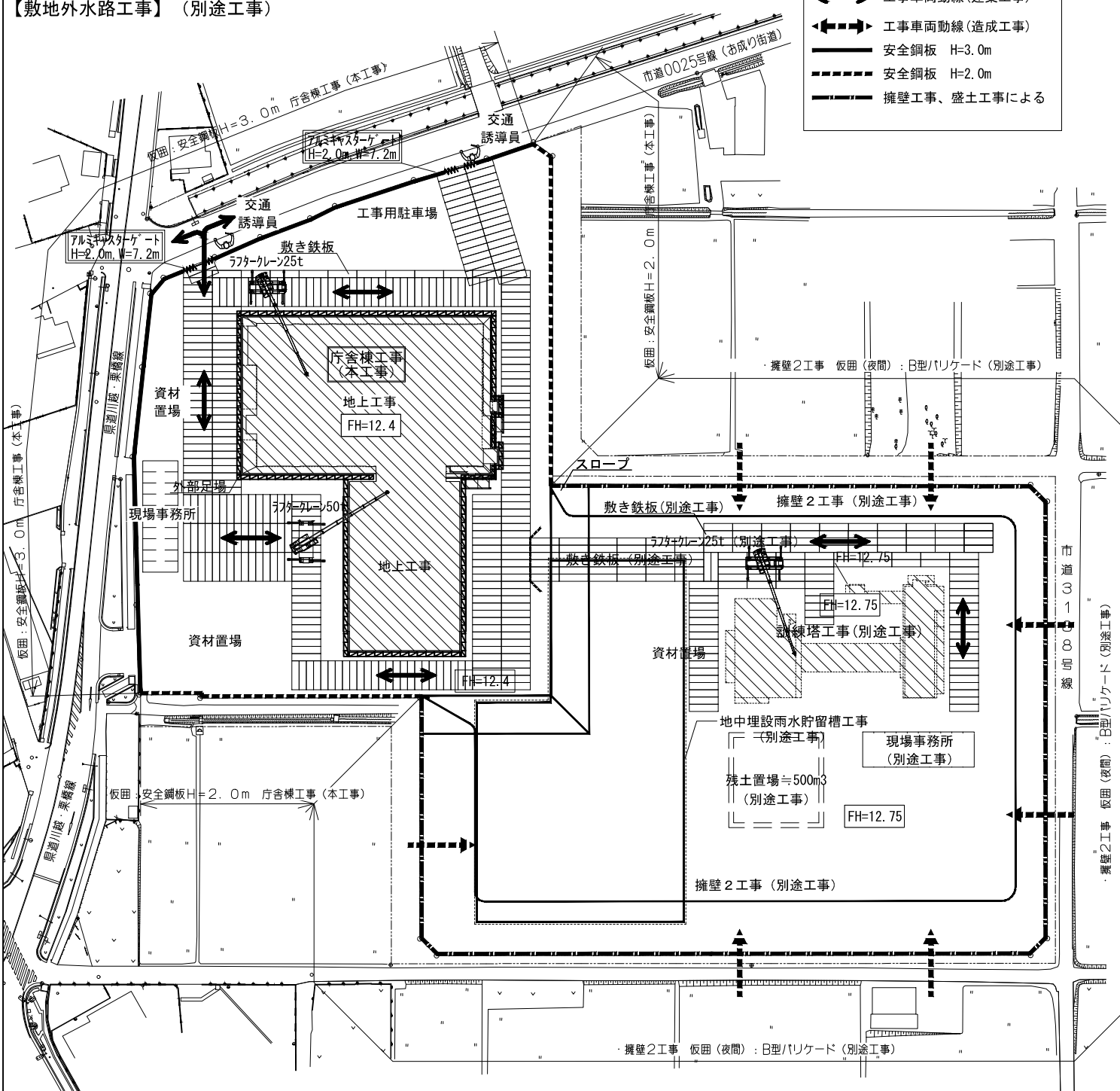
【敷地外水路工事】(別途工事)

・敷鉄板：2934㎡(庁舎棟工事)(本工事)
・敷鉄板：1403㎡(訓練塔工事)(別途工事)



凡例

	工事車両動線(建築工事)
	工事車両動線(造成工事)
	安全鋼板 H=3.0m
	安全鋼板 H=2.0m
	擁壁工事、盛土工事による



254号

254号

(凡例)

◎	境界石	設計QL=KBM-0.097=TP+12.20
⊕	ベンチマーク	配置基準寸法を示す
—	敷地境界線	
0.00	現況地盤面レベル	
0.00	計画地盤面レベル	

川越地区消防局・川越北消防署新築工事		
K	仮設	A1=1:600 A3=1:1200
02	総合仮設計画図(2)(参考図)	
安井建築設計事務所		

(約5ヶ月)4-3

【庁舎棟工事】(本工事)
地上工事、保管庫工事

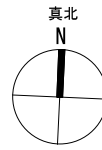
【訓練塔工事】(別途工事)
杭工事、地下躯体工事、地上工事

【雨水貯留槽工事】(別途工事)

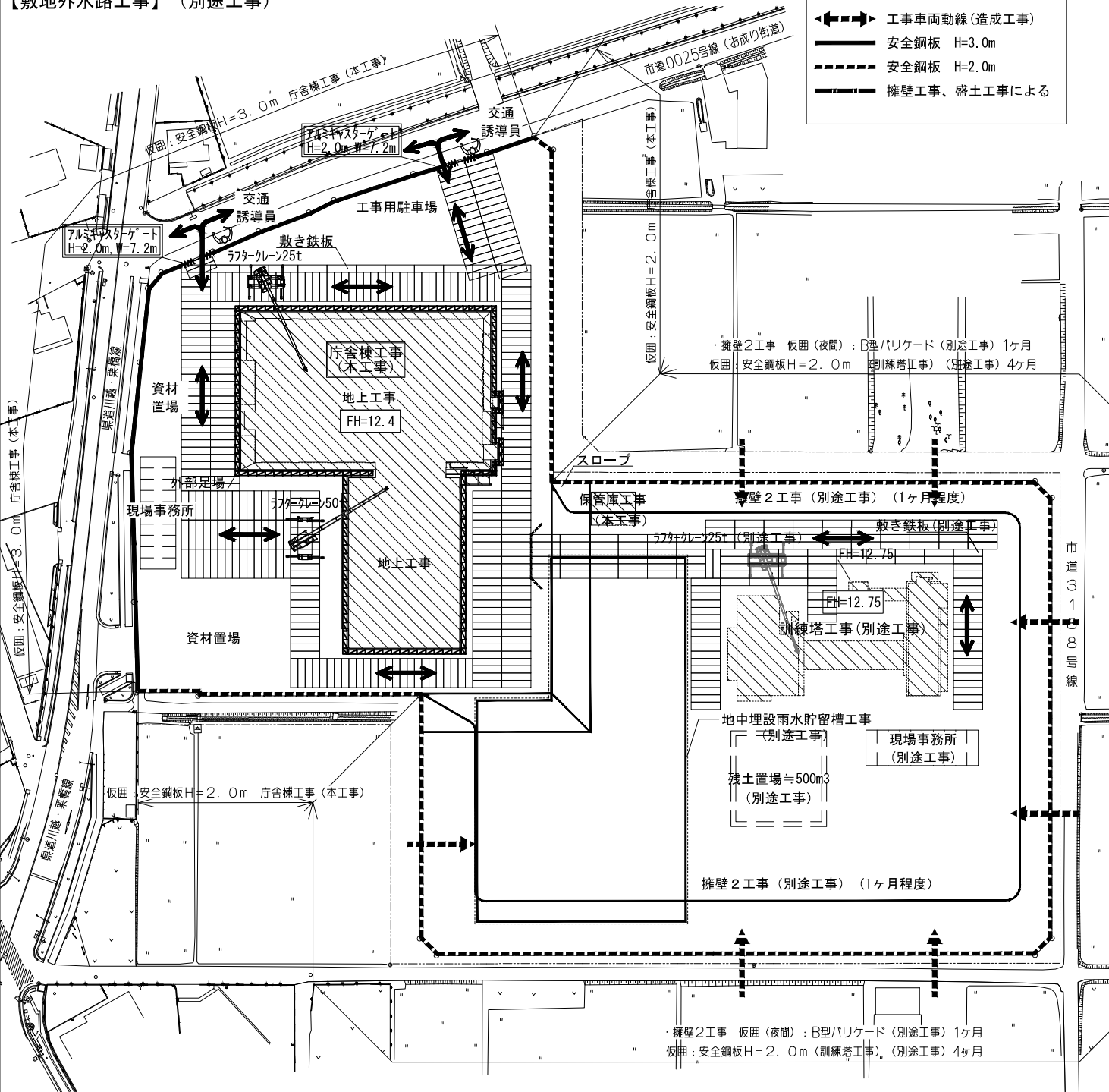
【擁壁2工事】(別途工事)

【敷地外水路工事】(別途工事)

・敷鉄板: 2934㎡ (庁舎棟工事) (本工事)
・敷鉄板: 1403㎡ (訓練塔工事) (別途工事)



- 凡例
- ⇄ 工事車両動線(建築工事)
 - ⇄ 工事車両動線(造成工事)
 - 安全鋼板 H=3.0m
 - - - 安全鋼板 H=2.0m
 - 擁壁工事、盛土工事による



(約7ヶ月)5

【庁舎棟工事】(本工事)
地上工事

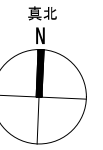
【訓練塔工事】(別途工事)
地上工事

【外構その他工事】(別途工事)
付属工事(外構・植栽工事など)

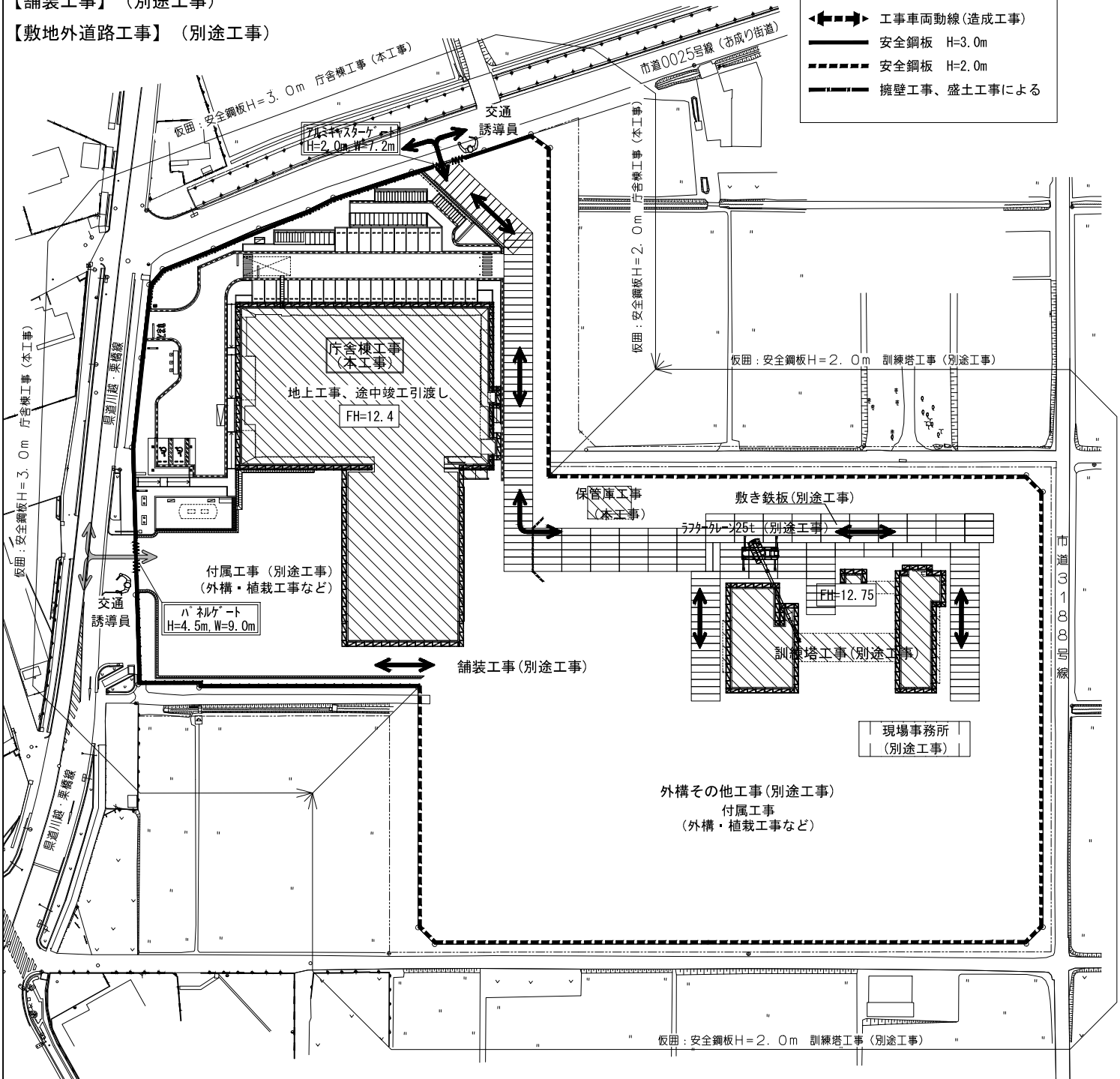
【舗装工事】(別途工事)

【敷地外道路工事】(別途工事)

・敷鉄板: 560㎡ (庁舎棟工事) (本工事)
・敷鉄板: 1403㎡ (訓練塔工事) (別途工事)



- 凡例
- ⇄ 工事車両動線(建築工事)
 - ⇄ 工事車両動線(造成工事)
 - 安全鋼板 H=3.0m
 - - - 安全鋼板 H=2.0m
 - 擁壁工事、盛土工事による



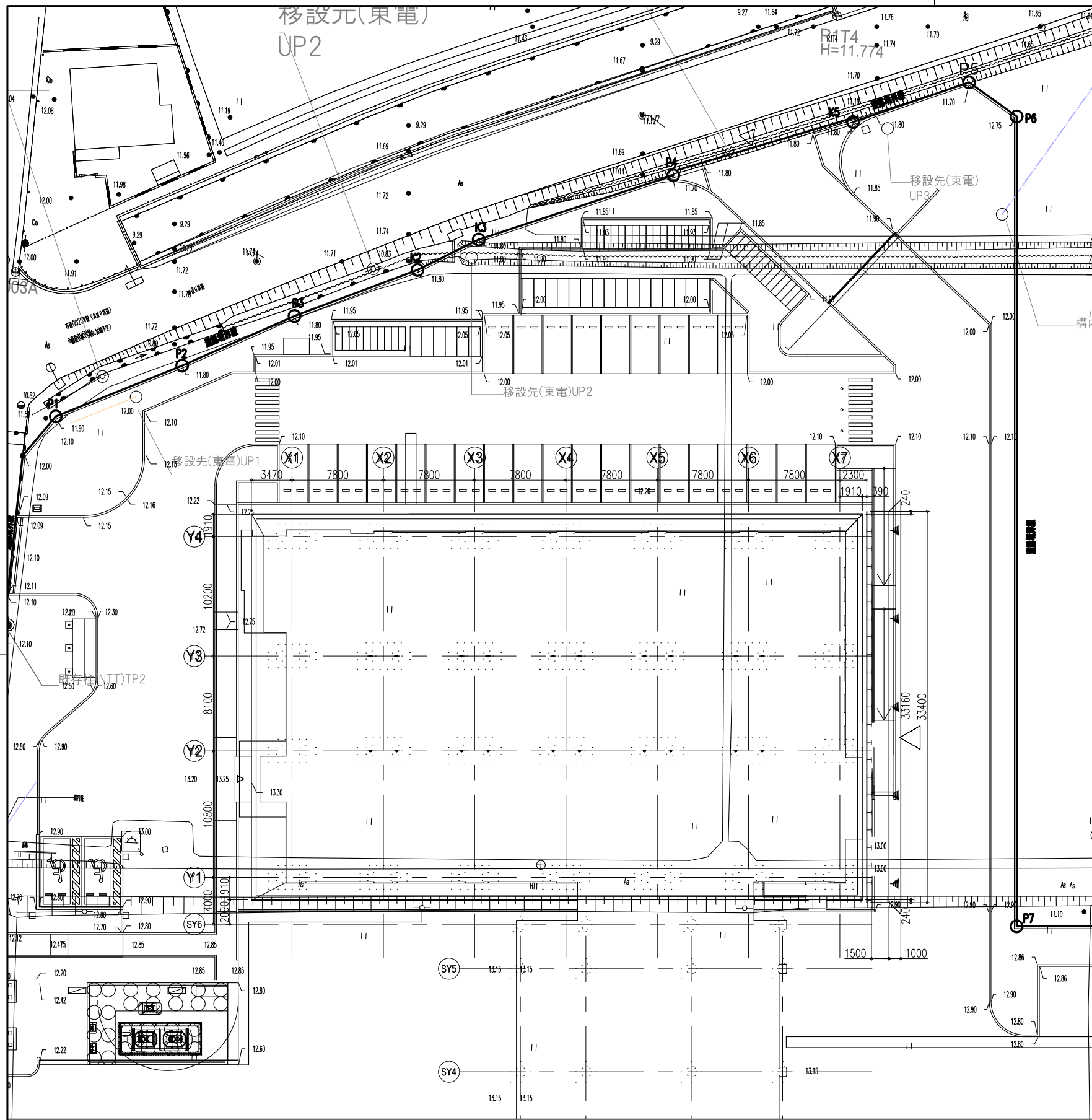
254号

254号

(凡例)

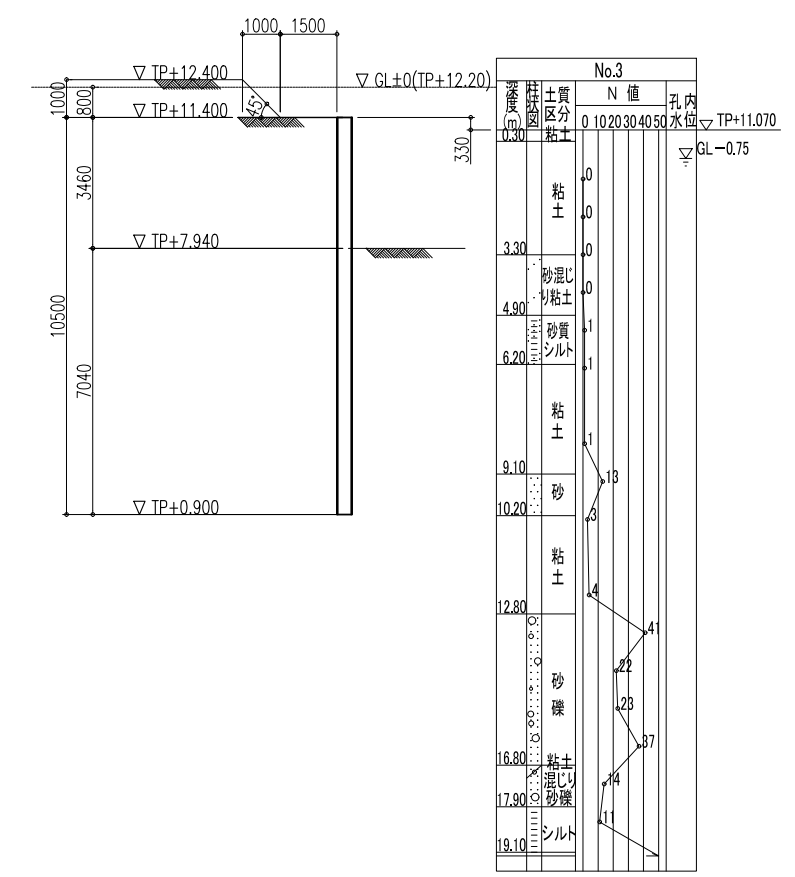
◎	境界石	設計QL=KBM-0.097=TP+12.20
⊕	BM	ベンチマーク
—	敷地境界線	配置基準寸法を示す
○	0.00	現況地盤面レベル
○	0.00	計画地盤面レベル

川越地区消防局・川越北消防署新築工事		
K	仮設	A1=1: 600 A3=1: 1200
03	総合仮設計画図(3) (参考図)	
安井建築設計事務所		



平面図 1/200(A1) 1/400(A3)

山留 部材リスト			
親杭	H-400x400x13x21	@1500	L=10500
備考	横矢板厚 t=45mm		



断面図 1/100(A1) 1/200(A3)

No.3			
層別	土質区分	N値	孔内水位
0.30	粘土	0	TP+11.070
0.0	粘土	0	GL-0.75
3.30	砂混じり粘土	0	
4.90	砂質シルト	0	
6.20	粘土	1	
9.10	砂	13	
10.20	粘土	4	
12.80	砂	22	
16.80	粘土	23	
17.90	砂	37	
19.10	シルト	44	

川越地区消防局・川越北消防署新築工事		
K	総合・意匠	A1=図示 A3=図示
O4	山留計画図(参考図)	
安井建築設計事務所		

